

# 津市立西橋内中学校理科室床改修工事

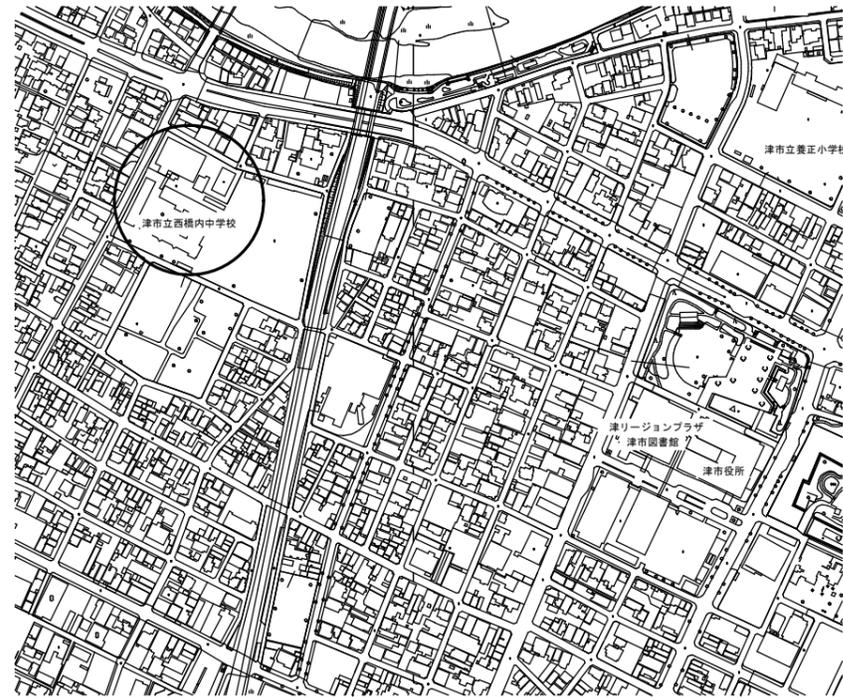
図面リスト					
建築工事		電気工事		機械工事	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 01	改修特記仕様書(1)	E - 01	特記仕様書	M - 01	特記仕様書
A - 02	改修特記仕様書(2)	E - 02	仮設電灯設備図	M - 02	多目的教室 改修後 給排水衛生設備 平面詳細図
A - 03	改修特記仕様書(3)	E - 03	普通・特別教室棟 改修前 電気設備図	M - 03	第2理科室・準備室 改修後 給排水衛生設備 平面詳細図
A - 04	改修特記仕様書(4)	E - 04	普通・特別教室棟 改修後 電気設備図	M - 04	第1理科室・準備室 改修後 給排水衛生設備 平面詳細図
A - 05	付近見取図・配置図			M - 05	第1理科室 改修前 給排水衛生設備 平面詳細図
A - 06	仕上表			M - 06	第2理科室・準備室 改修前 給排水衛生設備 平面詳細図
A - 07	管理棟、普通・特別教室棟 改修前 1階平面図			M - 07	第3理科室・準備室 改修前 給排水衛生設備 平面詳細図
A - 08	管理棟、普通・特別教室棟 改修後 1階平面図				
A - 09	改修前 矩計詳細図				
A - 10	改修後 矩計詳細図				
A - 11	第1理科室・準備室 改修前 平面詳細図				
A - 12	第2理科室・準備室 改修前 平面詳細図				
A - 13	第3理科室・準備室 改修前 平面詳細図				
A - 14	第1理科室・準備室 改修前 展開図				
A - 15	第2理科室・準備室 改修前 展開図				
A - 16	第3理科室 改修前 展開図				
A - 17	準備室 改修前 展開図				
A - 18	多目的教室・準備室 改修後 平面詳細図				
A - 19	第2理科室・準備室 改修後 平面詳細図				
A - 20	第1理科室・準備室 改修後 平面詳細図				
A - 21	第1理科室 改修後 展開図				
A - 22	第2理科室・準備室 改修後 展開図				
A - 23	多目的教室・準備室 改修後 展開図				
A - 24	準備室 改修後 展開図				
A - 25	仮設計画図				

工事特記仕様書(改修)		章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																							
<b>I. 工事名称</b> 津市立西橋内中学校理科室床改修工事 <b>II. 工事概要</b> 1 工事場所 津市 東古河町 地内 2 敷地面積 22.156 m <sup>2</sup> 3 工事内容 理科室床改修 棟名称 普通・特別教室棟 構造 鉄筋コンクリート造 4階建 建築面積 延べ面積 普通・特別教室棟 1,130m <sup>2</sup> <b>III. 建築改修工事仕様</b> 1 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」(以下「改標仕」という。)による。 2 特記仕様 (1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印が付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し、※印の付いたものは適用しない。 使用材料等で複数の材料に○印が付いたものは図面による。 (3)項目欄に記載の( )内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。				<ul style="list-style-type: none"> <li>引き渡しを要するもの ※なし ( )</li> <li>石綿含有産業廃棄物 ※有 ( )</li> <li>アスベスト成形板等解体時の留意点 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2. 可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。 3. 飛散されない様にする。</li> <li>保護器具及び作業着を着用すること。</li> <li>解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。</li> <li>事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。</li> </ul>		⑬ 工事写真 ※ 工事写真の撮り方/建築、及び同/建築設備に従い撮影する。 提出部数 1部 用紙は上質紙とする。			6 監督員事務所の備品等 (2.4.1)(b) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>1組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長靴</th> <th>雨合羽</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ほか</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>掃除具</th> <th>請負者加入電話・FAX</th> <th>冷暖房器</th> <th>インターネット</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	1組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ほか	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	請負者加入電話・FAX	冷暖房器	インターネット	数量	個	個	台	台	台				
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																												
数量	1組	台	個	個	個																																												
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ほか																																												
数量	足	着	個	個	台																																												
種類	消火器	掃除具	請負者加入電話・FAX	冷暖房器	インターネット																																												
数量	個	個	台	台	台																																												
			4 建設副産物情報交換システムの利用 ※ 再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が1億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」及び「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にはJAGICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。		⑭ 完成図 (1.8.2) ※ 作成する(※完成図A2-2部・保全に関する資料) ※ 完成図作成範囲(設計図を修正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。			7 仮設便所 ⑧ 工事用水 ⑨ 工事用電力 ⑩ 交通誘導員																																									
			5 三重県産業廃棄物税 ※ 本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。		⑮ 完成写真 ※ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。 写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。 ・アルファ1部 (大きさ335mm×290mm程度、カラー)			③ 1 アスファルト防水 (3.1.4)(3.3.3)(表3.3.3~表3.3.10) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・PIB</td> <td>・B-1 ※ B-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PIE</td> <td>・E-1 ※ E-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・PIB	・B-1 ※ B-2		・PIE	・E-1 ※ E-2		・P2E																															
工法	種別	施工箇所																																															
・PIB	・B-1 ※ B-2																																																
・PIE	・E-1 ※ E-2																																																
・P2E																																																	
			6 電気保安技術者 (1.3.3) 適用する		⑯ 設備工事との取合い 施工範囲 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ※ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※ 設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。			2 改質アスファルトシート防水 (3.4.3)表(3.4.1~表3.4.3)(3.4.3)(2)(3) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・MIAS</td> <td>・AS-1 ・AS-2 ・AS-3</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・MIAS	・AS-1 ・AS-2 ・AS-3																																				
工法	種別	施工箇所																																															
・MIAS	・AS-1 ・AS-2 ・AS-3																																																
			7 技能士 (1.6.2) 職種別に可能なものについては積極的に活用すること。		⑰ 既存部分への処置 (1.3.12)			3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.3)表(3.5.1)(3.5.2)(b)(3.5.3) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・SSS</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SSS</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4S</td> <td>・S-M2 ・S-F2</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・SSS			・SSS			・M4S	・S-M2 ・S-F2																														
工法	種別	施工箇所																																															
・SSS																																																	
・SSS																																																	
・M4S	・S-M2 ・S-F2																																																
			8 施工数量調査 (1.5.2) 調査範囲及び調査方法 ・外壁改修工事(打診調査、報告書作成(図示、工法別集計表))		⑱ 事故報告 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。			4 塗膜防水 (3.6.3)表(3.6.1)(3.6.3)(a)(3.6.3)(b) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・POX</td> <td>・X-1</td> <td>・X-2</td> </tr> <tr> <td>・L4X</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・POX	・X-1	・X-2	・L4X																																		
工法	種別	施工箇所																																															
・POX	・X-1	・X-2																																															
・L4X																																																	
			9 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3) 補修方法 ※ 図示		⑳ 測定対象化学物質(●で示したものとする。) <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>施設用途</th> <th>ホム7</th> <th>ホルム</th> <th>キシロ</th> <th>エチル</th> <th>スリン</th> <th>パラジク</th> </tr> <tr> <td>●</td> <td>学校、教育施設</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td>住宅</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </table>	適用	施設用途	ホム7	ホルム	キシロ	エチル	スリン	パラジク	●	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●		住宅	●	●	●	●	●			その他	●	●	●	●	●				5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6)(c)(2)(3.2.6)(c)(6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>・Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・PIY	・Y-2		・P2Y		
適用	施設用途	ホム7	ホルム	キシロ	エチル	スリン	パラジク																																										
●	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●																																										
	住宅	●	●	●	●	●																																											
	その他	●	●	●	●	●																																											
工法	種別	施工箇所																																															
・PIY	・Y-2																																																
・P2Y																																																	
			⑩ 化学物質の濃度測定 (1.6.9) <table border="1"> <tr> <th>測定対象室及び測定箇所数(※施工後3室)</th> <th>測定方法(※パッシブ法・アクティブ法)</th> <th>報告書提出部数</th> </tr> <tr> <td>2部</td> <td>2部</td> <td>2部</td> </tr> </table>	測定対象室及び測定箇所数(※施工後3室)	測定方法(※パッシブ法・アクティブ法)	報告書提出部数	2部	2部	2部		㉑ 仮設間仕切り (2.3.2)表(2.3.1) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> <th>D種</th> <th>E種</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </table>	種別	A種	B種	C種	D種	E種	・A種	●	●	●	●	●			5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6)(c)(2)(3.2.6)(c)(6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>・Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・PIY	・Y-2		・P2Y																
測定対象室及び測定箇所数(※施工後3室)	測定方法(※パッシブ法・アクティブ法)	報告書提出部数																																															
2部	2部	2部																																															
種別	A種	B種	C種	D種	E種																																												
・A種	●	●	●	●	●																																												
工法	種別	施工箇所																																															
・PIY	・Y-2																																																
・P2Y																																																	
			⑪ 特別な材料の工法		㉒ 監督員事務所 (2.4.1) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">監督員事務所の仕様</th> </tr> <tr> <th>部位等</th> <th>仕上げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニール床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </table>	監督員事務所の仕様		部位等	仕上げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り	屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り			5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6)(c)(2)(3.2.6)(c)(6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>・Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・PIY	・Y-2		・P2Y																								
監督員事務所の仕様																																																	
部位等	仕上げ																																																
床	合板張り又はビニール床シート張り																																																
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																
工法	種別	施工箇所																																															
・PIY	・Y-2																																																
・P2Y																																																	
			⑫ 騒音・振動の防止		㉓ 測定対象室及び測定箇所数(※施工後3室) ※ 測定方法(※パッシブ法・アクティブ法) ※ 報告書提出部数 2部			5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6)(c)(2)(3.2.6)(c)(6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>・Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・PIY	・Y-2		・P2Y																																		
工法	種別	施工箇所																																															
・PIY	・Y-2																																																
・P2Y																																																	
			⑬ 発生材の処理等 (1.3.8)		※ 公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。			5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6)(c)(2)(3.2.6)(c)(6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>・Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・PIY	・Y-2		・P2Y																																		
工法	種別	施工箇所																																															
・PIY	・Y-2																																																
・P2Y																																																	
			分別解体等の方法 <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体の方法</th> </tr> <tr> <td>造成等</td> <td>・有・無</td> <td>・手作業</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>・有・無</td> <td>・手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>●有・無</td> <td>●手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>・有・無</td> <td>・手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td>●有・無</td> <td>●手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他( )</td> <td>●有・無</td> <td>●手作業と機械作業の併用</td> </tr> </table>	工程	作業の有無	分別解体の方法	造成等	・有・無	・手作業	基礎・基礎ぐい	・有・無	・手作業と機械作業の併用	上部構造部分・外装	●有・無	●手作業と機械作業の併用	屋根	・有・無	・手作業と機械作業の併用	建築設備・内装等	●有・無	●手作業と機械作業の併用	その他( )	●有・無	●手作業と機械作業の併用		※ 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。			5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6)(c)(2)(3.2.6)(c)(6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>・Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・PIY	・Y-2		・P2Y													
工程	作業の有無	分別解体の方法																																															
造成等	・有・無	・手作業																																															
基礎・基礎ぐい	・有・無	・手作業と機械作業の併用																																															
上部構造部分・外装	●有・無	●手作業と機械作業の併用																																															
屋根	・有・無	・手作業と機械作業の併用																																															
建築設備・内装等	●有・無	●手作業と機械作業の併用																																															
その他( )	●有・無	●手作業と機械作業の併用																																															
工法	種別	施工箇所																																															
・PIY	・Y-2																																																
・P2Y																																																	
										6 監督員事務所の備品等 (2.4.1)(b) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>機・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>1組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長靴</th> <th>雨合羽</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ほか</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>掃除具</th> <th>請負者加入電話・FAX</th> <th>冷暖房器</th> <th>インターネット</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table>	種類	機・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	1組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ほか	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	請負者加入電話・FAX	冷暖房器	インターネット	数量	個	個	台	台	台			
種類	機・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																												
数量	1組	台	個	個	個																																												
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ほか																																												
数量	足	着	個	個	台																																												
種類	消火器	掃除具	請負者加入電話・FAX	冷暖房器	インターネット																																												
数量	個	個	台	台	台																																												
										③ 1 アスファルト防水 (3.1.4)(3.3.3)(表3.3.3~表3.3.10) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・PIB</td> <td>・B-1 ※ B-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PIE</td> <td>・E-1 ※ E-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・PIB	・B-1 ※ B-2		・PIE	・E-1 ※ E-2		・P2E																													
工法	種別	施工箇所																																															
・PIB	・B-1 ※ B-2																																																
・PIE	・E-1 ※ E-2																																																
・P2E																																																	
										2 改質アスファルトシート防水 (3.4.3)表(3.4.1~表3.4.3)(3.4.3)(2)(3) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・MIAS</td> <td>・AS-1 ・AS-2 ・AS-3</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・MIAS	・AS-1 ・AS-2 ・AS-3																																		
工法	種別	施工箇所																																															
・MIAS	・AS-1 ・AS-2 ・AS-3																																																
										3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.3)表(3.5.1)(3.5.2)(b)(3.5.3) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・SSS</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SSS</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4S</td> <td>・S-M2 ・S-F2</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・SSS			・SSS			・M4S	・S-M2 ・S-F2																												
工法	種別	施工箇所																																															
・SSS																																																	
・SSS																																																	
・M4S	・S-M2 ・S-F2																																																
										4 塗膜防水 (3.6.3)表(3.6.1)(3.6.3)(a)(3.6.3)(b) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・POX</td> <td>・X-1</td> <td>・X-2</td> </tr> <tr> <td>・L4X</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・POX	・X-1	・X-2	・L4X																																
工法	種別	施工箇所																																															
・POX	・X-1	・X-2																																															
・L4X																																																	
										5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6)(c)(2)(3.2.6)(c)(6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>・Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・PIY	・Y-2		・P2Y																																
工法	種別	施工箇所																																															
・PIY	・Y-2																																																
・P2Y																																																	

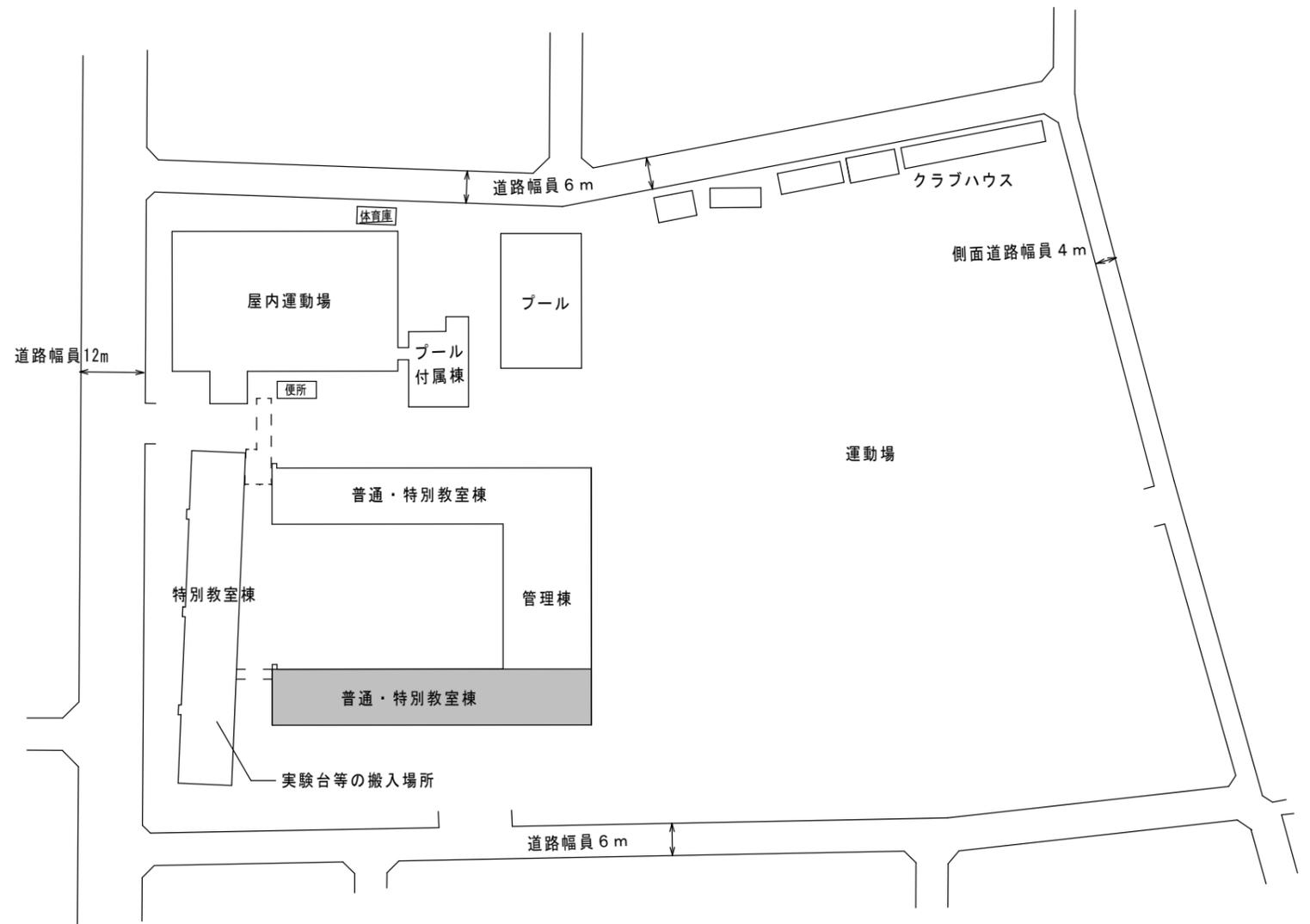
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																			
⑥	シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	<p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>SR-1</td> <td>シリコン系</td> <td>かゝ廻り</td> </tr> <tr> <td>SR-2</td> <td>シリコン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成シリコン系</td> <td>面台取り合い・建具廻り 壁入り隅</td> </tr> <tr> <td>PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シーリング充填工法</li> <li>シーリング再充填工法</li> <li>拡幅シーリング再充填工法 (拡幅幅 mm、拡幅深さ mm)</li> <li>ブリッジ工法 (ボンドプレーカー幅 mm、エッジング材幅 mm)</li> </ul> <p>シーリング材の試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない</p>	種類	材種	施工箇所	SR-1	シリコン系	かゝ廻り	SR-2	シリコン系		MS-2	変成シリコン系	面台取り合い・建具廻り 壁入り隅	PS-2	ポリサルファイド系		PU-2	ポリウレタン系		3	改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	<p>・ 塗り 新規 仕上外壁 仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>薄付け仕上塗材塗り</li> <li>厚付け仕上塗材塗り</li> <li>複層仕上塗材塗り</li> <li>可とう形改修用仕上塗材塗り</li> <li>各種塗料塗り</li> <li>マスキング塗材塗り</li> </ul> <p>樹脂注入工法 種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入量( ) 注入間隔( )</li> <li>手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量( ) 注入間隔( )</li> <li>機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量( ) 注入間隔( )</li> </ul> <p>材料 エポキシ樹脂 JI S A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形</p> <p>コー抜き取り検査 ・ 行う ・ 行わない ・ 抜き取り個数( ) ・ 抜き取り部分補修方法( )</p> <p>Uカットシール材充填工法 材料 ・ シーリング用材充填 ( ・ PU-2 ・ ) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>シール工法 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂シール ・ 可とう性エポキシ樹脂シール</p> <p>充填工法 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル充てん ・ ポリマーセメントモルタル充てん</p> <p>モルタル塗替え工法 材料 ・ 既製目地材の適用及び形状( ) 仕上げ厚( )</p> <p>アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの配置 ※ 標準 材料 ・ アンカーピン(ステンレス)</p> <p>アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピン及び注入口の配置 ※ 標準 材料 ・ アンカーピン( )</p> <p>アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの配置 ※ 一般部分16本/m<sup>2</sup> ・ 指定部分25本/m<sup>2</sup> 材料 ・ アンカーピン( )</p> <p>注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの配置 ※ 標準 材料 ・ 注入口付アンカーピン( )</p> <p>注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピン及び注入口の配置 ※ 標準 材料 ・ 注入口付アンカーピン( )</p> <p>注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピン及び注入口の配置 ※ 標準 材料 ・ ポリマーセメントスラリー( ) ・ 注入口付アンカーピン( )</p> <p>タイル部分張替え工法 材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 変成シリコン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂</p> <table border="1"> <tr> <th>形状寸法</th> <th>きじ</th> <th>粘薬</th> <th>色</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 磁器</td> <td>・ 施釉</td> <td>・ 標準品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ せっ器</td> <td>・ 無釉</td> <td>・ 特注品</td> </tr> </table> <p>・ 役物( ・ 一体成形 ・ 接着加工 工法 ・ 試験張り ・ 行う ※ 行わない ・ 見本焼き ・ 行う ※ 行わない</p>	形状寸法	きじ	粘薬	色		・ 磁器	・ 施釉	・ 標準品		・ せっ器	・ 無釉	・ 特注品	(4.2.2)(h) (4.5.8) (表4.5.3)	<p>タイラ張替え工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>タイルの種類</th> <th>タイルの大きさ</th> <th>工法</th> <th>塗厚(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">外装 タイル</td> <td rowspan="2">・ 小口タイル 以上二丁掛け 以下</td> <td rowspan="2"></td> <td>・ 密着張り</td> <td>5~8</td> </tr> <tr> <td>・ 改良積上 張り</td> <td>4~7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ユニット タイル</td> <td rowspan="2">・ 25mm角を超 え小口未満</td> <td rowspan="2"></td> <td>・ 改良圧着 張り</td> <td>下地側 4~6 タイル側 3~4</td> </tr> <tr> <td>・ マスク張り ・ モザイク タイル張り</td> <td>3~4 3~5</td> </tr> </table> <p>・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカーピンの配置 ( 本/m<sup>2</sup>)</p> <p>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地 (位置 寸法 × ) 検査 シーリング接着性試験 ・ 行う( ・ 簡易接着性試験) ・ 行わない</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上形状</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">薄付け 仕上塗材</td> <td rowspan="4">・ 外装薄塗材 E</td> <td>・ 砂壁状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td>・ こて</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>・ こて</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸状</td> <td>・ こて</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">防水形外装 薄塗材E</td> <td rowspan="4">・ 防水形外装 薄塗材E</td> <td>・ ゆず肌状</td> <td>・ ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ さざ波状</td> <td>・ こて</td> </tr> <tr> <td>・ 着色骨材砂 壁状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸状</td> <td>・ こて</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">厚付け 仕上塗材</td> <td rowspan="4">・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材S ・ 外装厚塗材E</td> <td>・ 吹放し 凸部処理</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>・ こて</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸状</td> <td>・ こて</td> </tr> <tr> <td>・ ひき起し ・ 掻き落とし</td> <td>・ ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">複層仕上 塗材</td> <td rowspan="4">・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層 塗材E ・ 防水形複層 塗材RE</td> <td>・ ゆず肌状</td> <td>・ ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸模様</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 吹放し 凸部処理</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可とう形 改修用 仕上塗材</td> <td rowspan="2">・ 可とう形改修 塗材E ・ 可とう形改修 塗材RE ・ 可とう形改修 塗材CE</td> <td>・ 平たん状</td> <td>・ ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ さざ波状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複層仕上塗材の上塗材の種類</td> <td rowspan="2">樹脂種類</td> <td>溶媒種類</td> <td>外 観</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シリカ系</td> <td rowspan="2">・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無</td> <td rowspan="2">・ アクリルシリコン系</td> <td rowspan="2">・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ フッ素系</td> <td>・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </table> <p>(注) つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。</p> <p>既存塗膜等の除去及び下地処理</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> <tr> <td>※ サンダー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法 30MPa以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜剝離工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ デッキブラシ ・ 高圧ポンプ 10~15MPa</td> <td></td> </tr> </table> <p>(4.6.3)</p> <p>(4.6.4)</p> <p>下地調整 ・ O-1 ・ O-2 ・ CM-2 ・ E ・</p>	種類	タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗厚(mm)	外装 タイル	・ 小口タイル 以上二丁掛け 以下		・ 密着張り	5~8	・ 改良積上 張り	4~7	・ ユニット タイル	・ 25mm角を超 え小口未満		・ 改良圧着 張り	下地側 4~6 タイル側 3~4	・ マスク張り ・ モザイク タイル張り	3~4 3~5	種 類	呼び名	仕上形状	工 法	薄付け 仕上塗材	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け	・ ゆず肌状	・ こて	・ 平たん状	・ こて	・ 凹凸状	・ こて	防水形外装 薄塗材E	・ 防水形外装 薄塗材E	・ ゆず肌状	・ ローラー	・ さざ波状	・ こて	・ 着色骨材砂 壁状	・ 吹付け	・ 凹凸状	・ こて	厚付け 仕上塗材	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材S ・ 外装厚塗材E	・ 吹放し 凸部処理	・ 吹付け	・ 平たん状	・ こて	・ 凹凸状	・ こて	・ ひき起し ・ 掻き落とし	・ ローラー	複層仕上 塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層 塗材E ・ 防水形複層 塗材RE	・ ゆず肌状	・ ローラー	・ 凸部処理	・ 吹付け	・ 凹凸模様	・ 吹付け	・ 吹放し 凸部処理	・ 吹付け	可とう形 改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修 塗材E ・ 可とう形改修 塗材RE ・ 可とう形改修 塗材CE	・ 平たん状	・ ローラー	・ さざ波状	・ 吹付け	複層仕上塗材の上塗材の種類	樹脂種類	溶媒種類	外 観	・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無	・ フッ素系	・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無	工法	処理範囲	※ サンダー工法		・ 高圧水洗工法 30MPa以上		・ 塗膜剝離工法		・ 水洗い工法		・ デッキブラシ ・ 高圧ポンプ 10~15MPa		⑤	1 改修工法 (5.1.3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>かぶせ工法 ( ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法)</li> <li>撤去工法 ( ・ はつり工法 ・ 引抜き工法)</li> </ul>	2 防火戸 (5.1.4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>例示仕様 ・ 個別認定(認定番号)</li> </ul>	3 見本の製作 (5.1.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作する ・ 製作しない</li> </ul>	4 ブラインド カーテンボックス 等 (5.1.6(c))	<ul style="list-style-type: none"> <li>再使用する ・ 再使用しない</li> </ul>	5 アルミニウム製建具 (5.2.2)	<p>性能等級等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種 ・ B種 ・ C種</li> </ul> <p>(表5.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防音ドアセット、防音サッシ(等級)</li> <li>断熱ドアセット(等級)</li> <li>耐震ドアセット(等級)</li> </ul> <p>(表5.2.2)</p> <p>アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部に面する建具 ※ B-1 ・ B-2</li> <li>内部に面する建具 ※ O-1 ・ O-2</li> </ul> <p>・ アルミ製面格子 ・ 図示</p>	6 網戸 (5.2.3(e))	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 可動式 ・ 固定式</li> <li>防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製</li> <li>網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ</li> </ul>	7 鋼製建具 (5.3.2)	<p>鋼製建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(5.3.2) 簡易気密性ドアセット (表5.3.1) 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 (表5.2.1)</li> <li>(5.2.2(b)) 防音ドアセット、防音サッシ(等級)</li> <li>断熱ドアセット(等級)</li> <li>耐震ドアセット(等級)</li> <li>H-2400又はW-950の建具 鋼板類の厚さ ※ 図示</li> </ul>	8 鋼製軽量 建具 (5.2.2(a))	<p>鋼製軽量建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(5.2.2(a)) 簡易気密性ドアセット (5.4.2) 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 (5.2.2(b)) 防音ドアセット、防音サッシ(等級)</li> <li>(5.4.3) 断熱ドアセット(等級)</li> <li>(5.4.4) 耐震ドアセット(等級)</li> <li>H-2400又はW-950の建具 鋼板類の厚さ ※ 図示</li> </ul> <p>表面仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>焼付塗装</li> <li>ビニル被覆鋼板</li> <li>カラー鋼板</li> <li>ステンレス鋼板(※ HL ・ 鏡面)</li> </ul>	9 ステンレス製建具 (5.5.2)	<p>ステンレス製建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(5.5.2) 簡易気密性ドアセット (5.3.2) 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 (5.5.3) 防音ドアセット、防音サッシ(等級)</li> <li>(5.5.4) 断熱ドアセット(等級)</li> <li>(5.5.5) 耐震ドアセット(等級)</li> </ul> <p>材料 ・ SUS304 ・ ( ) 表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ( ) 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ</p>	⑩	10 建具金物 (5.6.2)	<p>金物の見え掛り部等の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(5.6.2) 改修仕様5.6.1(その1)(その2)による</li> </ul> <p>(5.6.4)</p> <p>マスターキー ・ 製作する ※ 製作しない 引渡用鍵箱 ・ 必要 ※ 不要</p>	11 自動ドア 開閉装置 (5.7.3)	<p>開閉方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライディングドア</li> <li>・ スイングドア</li> </ul> <p>(5.7.2)(b)(1) (5.7.2)(b)(2)</p>	12 自閉式上吊り 引き戸装置 (5.8.3)	<p>センサの種類 ( )</p> <p>(表5.7.3)</p> <p>凍結防止措置 ・ あり ・ なし</p> <p>自閉式上吊り引戸装置の性能値 ※ 改修仕様5.8.1による ・ ( )</p>	13 重量シャ ッター (5.9.2)	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター</li> <li>・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター</li> </ul> <p>耐風圧強度 ( Pa以上)</p> <p>開閉機能 (5.9.2)(c) (表5.9.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式</li> </ul>
種類	材種	施工箇所																																																																																																																																																												
SR-1	シリコン系	かゝ廻り																																																																																																																																																												
SR-2	シリコン系																																																																																																																																																													
MS-2	変成シリコン系	面台取り合い・建具廻り 壁入り隅																																																																																																																																																												
PS-2	ポリサルファイド系																																																																																																																																																													
PU-2	ポリウレタン系																																																																																																																																																													
形状寸法	きじ	粘薬	色																																																																																																																																																											
	・ 磁器	・ 施釉	・ 標準品																																																																																																																																																											
	・ せっ器	・ 無釉	・ 特注品																																																																																																																																																											
種類	タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗厚(mm)																																																																																																																																																										
外装 タイル	・ 小口タイル 以上二丁掛け 以下		・ 密着張り	5~8																																																																																																																																																										
			・ 改良積上 張り	4~7																																																																																																																																																										
・ ユニット タイル	・ 25mm角を超 え小口未満		・ 改良圧着 張り	下地側 4~6 タイル側 3~4																																																																																																																																																										
			・ マスク張り ・ モザイク タイル張り	3~4 3~5																																																																																																																																																										
種 類	呼び名	仕上形状	工 法																																																																																																																																																											
薄付け 仕上塗材	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け																																																																																																																																																											
		・ ゆず肌状	・ こて																																																																																																																																																											
		・ 平たん状	・ こて																																																																																																																																																											
		・ 凹凸状	・ こて																																																																																																																																																											
防水形外装 薄塗材E	・ 防水形外装 薄塗材E	・ ゆず肌状	・ ローラー																																																																																																																																																											
		・ さざ波状	・ こて																																																																																																																																																											
		・ 着色骨材砂 壁状	・ 吹付け																																																																																																																																																											
		・ 凹凸状	・ こて																																																																																																																																																											
厚付け 仕上塗材	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材S ・ 外装厚塗材E	・ 吹放し 凸部処理	・ 吹付け																																																																																																																																																											
		・ 平たん状	・ こて																																																																																																																																																											
		・ 凹凸状	・ こて																																																																																																																																																											
		・ ひき起し ・ 掻き落とし	・ ローラー																																																																																																																																																											
複層仕上 塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層 塗材E ・ 防水形複層 塗材RE	・ ゆず肌状	・ ローラー																																																																																																																																																											
		・ 凸部処理	・ 吹付け																																																																																																																																																											
		・ 凹凸模様	・ 吹付け																																																																																																																																																											
		・ 吹放し 凸部処理	・ 吹付け																																																																																																																																																											
可とう形 改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修 塗材E ・ 可とう形改修 塗材RE ・ 可とう形改修 塗材CE	・ 平たん状	・ ローラー																																																																																																																																																											
		・ さざ波状	・ 吹付け																																																																																																																																																											
複層仕上塗材の上塗材の種類	樹脂種類	溶媒種類	外 観																																																																																																																																																											
		・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																																											
・ シリカ系	・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																																											
				・ フッ素系	・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水 系 ・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																																									
工法	処理範囲																																																																																																																																																													
※ サンダー工法																																																																																																																																																														
・ 高圧水洗工法 30MPa以上																																																																																																																																																														
・ 塗膜剝離工法																																																																																																																																																														
・ 水洗い工法																																																																																																																																																														
・ デッキブラシ ・ 高圧ポンプ 10~15MPa																																																																																																																																																														
					工事名/Title	図面種別/Drawing	Check	No.																																																																																																																																																						
					津市立西橋内中学校理科室床改修工事	改修特記仕様書(2)		A-02		合資会社 重企建築事務所																																																																																																																																																				
						縮尺/Scale	原図: A2	日付/Date		Jyuki Architectural Design Office																																																																																																																																																				
										一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号																																																																																																																																																				
										一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治																																																																																																																																																				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
14	軽量シャッター (5.10.2) (表5.10.1)	開閉形式 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 ( Pa以上) スラットの材質及び形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形									
15	オーバーヘッドドア (5.11.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミ ニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 ( Pa以上)  開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式  収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	(6.5.2(a)(3)) (6.5.2(b)(i))	代用樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない  集成材等 ・ 構造用集成材構造用集成材又は単板積層材 部材名称 品名 強度等級 材面の品質 接着性能 樹種名 寸法又は厚さ	(6.8.3(a)) (6.8.3(b))	工法 下地 ・ モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他( )  ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない  ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆  ・ 總じゅうたん 種別 バイル形状 帯電性 品質の程度	(6.11.7(b)) (6.12.2) (表6.12.1)	塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り  種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種			
16	ガラス (5.12.2(a))	板ガラス 種別 材料板ガラスの種類及び厚さ等 ・ フロート板ガラス ・ 型強化ガラス 4.0mm ・ 網入り板ガラス ・ 線入り板ガラス ・ 合わせガラス ・ 強化ガラス ・ 熱線吸収板ガラス ・ 複層ガラス ・ 熱線反射ガラス ・ 倍強度ガラス	(6.5.2(c))	・ 造作用集成材、化粧ばり造作用集成材又は単板積層材 部材名称 材面の品質 樹種名 防虫処理 寸法又は厚さ  ・ 床張り用合板等 部材名称 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ 便所 12mm  ・ 防虫処理 種類品質等( ) ・ 防蟻処理 種類品質等( )	(6.9.3(a)) (表6.9.9.1)	・ 總じゅうたん 種別 バイル形状 帯電性 品質の程度 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用 ※ 人体耐電圧 3KV以下 ・ 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)	(6.13.2) (表6.13.1)	⑫ 石膏ボードその他のボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)			
17	ガラス留め材 (5.12.2(b))	ガラス留め材 建具の種類 種類 アルミ ニウム製 ・ ガスケット ・ シーリング材 鋼製 ・ シーリング材 ・ ガスケット ステンレス製 ・ シーリング材 ・ ガスケット	(6.5.2(c))	野縁等の種類 ・ 屋内 ※ 19形 ・ 25形 ・ 屋外 ・ 19形 ※ 25形  形式及び寸法 ・ 屋外 ※ 図示 ・ 耐震天井 ※ 図示 ・ ふところ>3m ※ 図示 既存埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験 ・ 行う ・ 行わない	(6.9.3(b)) (表6.9.9.2)	・ タフテッドカーベット バイル形状 バイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度 ・ カットバイル ・ ループバイル ・ レベルループバイル、ループ併用 ※ 人体耐電圧 3KV以下 ※ 全面接着工法 ・ グリッパ工法	(6.13.2)(h)	遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド			
18	ガラスブロック積み	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ※ 図示 金属枠、補強材 ※ 図示 化粧カバー ※ 図示 工法 ・ 図示	(6.5.2(c))	スタッド、ランナーなどの種類 ※ 図示	(6.9.3(d))	・ ニードルパンチカーベット 厚さ(mm) 帯電性 備考 ・ ※ 人体耐電圧 3KV以下	(6.13.3)(e)(3)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種			
①	一般事項 (6.1.3(b))	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改修範囲 ・ 天井 図示による ・ 壁 図示による ・ 床 図示による	(6.8.2)	材料 ・ ビニル床シート 【JIS A 5705(ビニル系床材)】 色 柄 厚さ 備考 監督員との協議による 2.0mm	(6.9.3(e)) (表6.9.4)(e))	・ タイルカーベット バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 電気抵抗(Ω) 品質の程度 ・ カットバイル ※ 500×500 ・ ループバイル ※ 6.5 ・ 適用しない	(6.14.2)	壁紙張り (6.14.2)			
②	既存床撤去、下地補修 (6.2.2(a)(1)) (6.2.2(a)(2)) (6.2.2(c))	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ○ 行う ・ 行わない 合成樹脂塗床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 施工範囲及び施工によって汚れた範囲	(6.8.2)(b))	・ ビニル床シート 【JIS A 5705(ビニル系床材)】 種類 厚さ 備考	(6.9.3(f)) (表6.9.5)(f))	・ モルタルカーベット 厚さ(mm) 帯電性 備考 ・ ※ 人体耐電圧 3KV以下	(6.15.3)	モルタル塗り (6.15.3)			
3	既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ( )	(6.8.2)(c)(1))	・ 帯電防止床シート、床タイル 種類 性能 厚さ 備考	(6.9.3(g)) (表6.9.6)(g))	・ 釘留め工法 材 料 類別 種別 樹種 ・ フローリングボード (根張用) ※ なら ・ 複合フローリング (根張用) ・ 1種 ・ A種 ・ 2種 ・ B種 ・ 3種 ※ C種	(6.16.3)(a)(3)	試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ※ 行わない			
4	木下地等 (6.5.1(c)) (表6.5.1) (6.5.2(a)(1)) (表6.5.2) (6.5.2(a)(2)(ii)) (6.5.2(a)(2)(iii)) (6.5.2(a)(2)(iv)) (表6.5.3)	表面仕上げ ・ A種 ※ B種 ・ C種 木材の含水率(工事現場搬入時、質量比) 部材名称 種別 構造材 ※ A種 ・ B種 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種  保存処理木材 ※ 図示による  構造材及び下地材の等級 ※ 改構仕6.5.2(a)(2)(iii)による  造作材の等級 ※ A種 ・ B種	(6.8.2)(c)(2))	・ 視覚障害者用床タイル 種類 形状 備考	(6.9.3(h)) (表6.9.7)(h))	・ 接着工法 材 種 樹種 厚さ 大きさ ・ フローリングボード (直張用) ・ フローリングブロック (直張用) ・ 複合1種フローリング(直張用) ・ A種 ※ なら ・ 複合2種フローリング(直張用) ・ B種 ・ 複合3種フローリング(直張用) ※ C種	(6.16.3)(a)(3)	セルフレベリング材塗り (6.17.2)			
③	①一般事項 (6.1.3(b))	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改修範囲 ・ 天井 図示による ・ 壁 図示による ・ 床 図示による	(6.8.2)(e))	・ ゴム床タイル 色 柄 厚さ 備考	(6.9.3(i)) (表6.9.8)(i))	・ モルタル埋込み工法 フローリングブロック(単位:mm) 樹種 厚さ 大きさ 備考 ※ なら 15 303×303 辺材部分には、防虫処理を行う	(6.16.3)(a)(3)	断熱材 (9.5.2)			
④	②既存床撤去、下地補修 (6.2.2(a)(1)) (6.2.2(a)(2)) (6.2.2(c))	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ○ 行う ・ 行わない 合成樹脂塗床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 施工範囲及び施工によって汚れた範囲	(6.8.2)(e))	・ ビニル巾木 H=60	(6.9.3(j)) (表6.9.9)(j))	・ モルタル埋込み工法 フローリングブロック(単位:mm) 樹種 厚さ 大きさ 備考 ※ なら 15 303×303 辺材部分には、防虫処理を行う	(6.16.3)(a)(3)	断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム) 難燃性 厚さ(mm) 施工箇所 ※ A種1 ・ A種2 ・ A種3 ※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所			

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
7	1 材料 (7.1.3)(b)	※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)	8	1 適用範囲 (8.1.1)	工事内容 ・ 現場打ち鉄筋コンクリート 壁の増設工事 ・ 鉄骨ブレースの設置工事 ・ 柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 柱補強工事(連続繊維補強工法) ・ 耐震スリット 新設工事 ・ 免震改修・制震改修工事	8	1 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	材料(表8.2.1)による 種別 径(mm) SD295A ※D16以下 SD45 ※D19~D25 SD90 ※D29以上 .	8	1 (あと施工アカー) (あと施工アカー)の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ※本体打込み式・改良型・従来型 ・ 接着系 カプセル型 ※有機系 ・ 無機系
2	2 下地調整 (7.2.2~7.2.7) (表7.2.1~7.2.7)	種別 下地 種別 ・ 木部 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 鉄鋼面 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 垂鉛めつき鋼面 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ モルタル、プaster面 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ コンクリート、ALCパネル面 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ せっこうボード、その他ボード面 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	2	2 施工計画調査 (1.2.2) (1.2.4) (1.3.1) (1.5.1)	施工計画調査 項目 内容 記録事項等	2	2 溶接金網 (8.2.2)	網目の形状寸法及び鉄線の径 網目の形状寸法 鉄線の径(mm) 図示	2	2 あと施工アカーの施工 (8.11.4) (8.11.5)	穿孔 埋込み配管等の探査の範囲及び方法 範囲 ※ 図示 ・ あと施工アカー施工部分全て ・ ( ) 方法 ・ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ ( )
3	3 錆止め 塗料塗り (7.3.2) (表7.3.1) (7.3.3) (表7.3.3~7.3.4)	塗料種別 ・ 鉄鋼面 屋外 A種 屋内 ・ A種 ・ B種 ・ 垂鉛めつき鋼面 ※ A種 ・ B種 ・ C種	3	3 施工数量調査 (1.5.2)	施工数量調査 項目 内容 記録事項等	3	3 鉄筋の継手 (8.3.4)	径 部位 重ね継手 ※ D16以下 ガス圧接 ※ D19以上	3	3 あと施工アカー工事 (場所打ちコンクリート壁の増設工事) (8.2.4) (8.3.4)	あと施工アカー工事の確認試験 ・ 実施する (実施しない) 確認試験方法 ※ (8.11.5)による ・ ( ) 確認強度 ・ ( )
4	4 合成樹脂 調整ペイント塗り (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1~7.4.3)	塗料種別 ※ 1種 種別 下地 種別 ・ 木部 ・ A種 (B種) ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 垂鉛めつき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種	8	8 (既存部分の撤去等) 1 既存仕上げ等の撤去 (8.19.2) (8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存仕上げ等の撤去 撤去の範囲 ※ 図示 ・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ・ 既存コンクリート 撤去範囲に面する部分 撤去範囲 ※ 図示 ・ ( )	4	4 各部配筋 (8.3.8)	※ 図示 圧接完了後の試験 超音波探傷試験 ・ 行う ・ 行わない	3	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	場所打ちコンクリート 壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ種類 ※ 金属系あと施工アカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アカーの異形差筋アンカー 径(mm) ※ D10 長さ(mm) ※ 増打壁厚-40 ・ ( ) 影込み深さ(mm) ※ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ( ) 間隔(mm) ※ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ※ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ( )
5	5 クリヤラ ッカー塗り (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ※ B種	8	8 2 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 本工事の範囲 ・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分 ※ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。 撤去範囲 ※ 図示 ・ ( )	5	5 ガス圧接 (8.3.8)	※ 図示 圧接完了後の試験 超音波探傷試験 ・ 行う ・ 行わない	3	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	場所打ちコンクリート 壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ種類 ※ 金属系あと施工アカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アカーの異形差筋アンカー 径(mm) ※ D10 長さ(mm) ※ 増打壁厚-40 ・ ( ) 影込み深さ(mm) ※ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ( ) 間隔(mm) ※ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ※ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ( )
6	6 フタル酸 樹脂エナメル塗り (7.6.2~7.6.3) (表7.6.1~7.6.2)	種別 下地 適用 ・ 木部 (表7.6.1参照) ・ 鉄面及び垂鉛めつき鋼面 (表7.6.1参照)	8	8 3 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存鉄筋コンクリート 内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず ※図示 ・ 全ての撤去部分残す ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去 ※図示 ・ 全ての撤去部分範囲の周囲より一定 ・ 適用なし 長さを残し切断する ・ コンクリート 撤去範囲の鉄筋は切断する ※図示 (全ての撤去部分) ・ 適用なし	6	6 割製補強筋 (8.19.6) (8.20.7)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数、ピッチ 適用箇所 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ※6φ スパイラル径(mm) ※図示 ※スパイラル ※6φ ・ 9φ ・ D6 < 120 > スパイラル径(mm) < 50 > ※はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋) ※SR295A ※D10 壁内方向筋 < > 壁面外方向筋 < >	3	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	場所打ちコンクリート 壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ種類 ※ 金属系あと施工アカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アカーの異形差筋アンカー 径(mm) ※ D10 長さ(mm) ※ 増打壁厚-40 ・ ( ) 影込み深さ(mm) ※ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ( ) 間隔(mm) ※ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ※ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ( )
7	7 アクリル 樹脂系非水 分散塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 A種 ※ B種	8	8 3 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存構造体コンクリート 面の表層目荒らし 目荒らし範囲 ※ 既存コンクリート との打継ぎ面全面 ※ 既存コンクリート とモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ※ 図示 ・ ( ) 目荒らし程度 ※ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で ※ 図示 ・ ( )	7	7 割製補強筋 (8.19.6) (8.20.7)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数、ピッチ 適用箇所 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ※6φ スパイラル径(mm) ※図示 ※スパイラル ※6φ ・ 9φ ・ D6 < 120 > スパイラル径(mm) < 50 > ※はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋) ※SR295A ※D10 壁内方向筋 < > 壁面外方向筋 < >	3	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	場所打ちコンクリート 壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ種類 ※ 金属系あと施工アカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アカーの異形差筋アンカー 径(mm) ※ D10 長さ(mm) ※ 増打壁厚-40 ・ ( ) 影込み深さ(mm) ※ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ( ) 間隔(mm) ※ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ※ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ( )
8	8 耐光性塗料 塗り(DP) (7.8.2) (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系) 下地 種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 垂鉛めつき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	8	8 3 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存鉄筋コンクリート 内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず ※図示 ・ 全ての撤去部分残す ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去 ※図示 ・ 全ての撤去部分範囲の周囲より一定 ・ 適用なし 長さを残し切断する ・ コンクリート 撤去範囲の鉄筋は切断する ※図示 (全ての撤去部分) ・ 適用なし	8	8 1 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	材料(表8.2.1)による 種別 径(mm) SD295A ※D16以下 SD45 ※D19~D25 SD90 ※D29以上 .	8	8 1 (あと施工アカー) (あと施工アカー)の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ※本体打込み式・改良型・従来型 ・ 接着系 カプセル型 ※有機系 ・ 無機系
9	9 つや有合成樹脂 エマルジョンペイント 塗り (EP-G) (7.9.2~5) (表7.9.1~4)	種別 下地 種別 コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面 ・ A種 ※B種 ・ C種 木部(屋内) ・ A種 ※B種 ・ C種 鉄鋼面(屋内) ・ A種 ※B種 ・ C種 垂鉛めつき鋼面(屋内) ・ A種 ※B種 ・ C種	8	8 3 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存鉄筋コンクリート 内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず ※図示 ・ 全ての撤去部分残す ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去 ※図示 ・ 全ての撤去部分範囲の周囲より一定 ・ 適用なし 長さを残し切断する ・ コンクリート 撤去範囲の鉄筋は切断する ※図示 (全ての撤去部分) ・ 適用なし	9	9 割製補強筋 (8.19.6) (8.20.7)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数、ピッチ 適用箇所 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ※6φ スパイラル径(mm) ※図示 ※スパイラル ※6φ ・ 9φ ・ D6 < 120 > スパイラル径(mm) < 50 > ※はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋) ※SR295A ※D10 壁内方向筋 < > 壁面外方向筋 < >	8	8 1 (あと施工アカー) (あと施工アカー)の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ※本体打込み式・改良型・従来型 ・ 接着系 カプセル型 ※有機系 ・ 無機系
10	10 合成樹脂 エマルジョンペイント 塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 A種 ※ B種 ・ C種	8	8 3 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存鉄筋コンクリート 内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず ※図示 ・ 全ての撤去部分残す ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去 ※図示 ・ 全ての撤去部分範囲の周囲より一定 ・ 適用なし 長さを残し切断する ・ コンクリート 撤去範囲の鉄筋は切断する ※図示 (全ての撤去部分) ・ 適用なし	9	9 割製補強筋 (8.19.6) (8.20.7)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数、ピッチ 適用箇所 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ※6φ スパイラル径(mm) ※図示 ※スパイラル ※6φ ・ 9φ ・ D6 < 120 > スパイラル径(mm) < 50 > ※はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋) ※SR295A ※D10 壁内方向筋 < > 壁面外方向筋 < >	8	8 1 (あと施工アカー) (あと施工アカー)の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ※本体打込み式・改良型・従来型 ・ 接着系 カプセル型 ※有機系 ・ 無機系
11	11 合成樹脂 エマルジョン模様塗料 塗り(EP-T) (7.11.2) (表7.11.1~3)	種別 A種 ※ B種 ・ C種	8	8 3 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存鉄筋コンクリート 内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず ※図示 ・ 全ての撤去部分残す ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去 ※図示 ・ 全ての撤去部分範囲の周囲より一定 ・ 適用なし 長さを残し切断する ・ コンクリート 撤去範囲の鉄筋は切断する ※図示 (全ての撤去部分) ・ 適用なし	9	9 割製補強筋 (8.19.6) (8.20.7)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数、ピッチ 適用箇所 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ※6φ スパイラル径(mm) ※図示 ※スパイラル ※6φ ・ 9φ ・ D6 < 120 > スパイラル径(mm) < 50 > ※はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋) ※SR295A ※D10 壁内方向筋 < > 壁面外方向筋 < >	8	8 1 (あと施工アカー) (あと施工アカー)の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ※本体打込み式・改良型・従来型 ・ 接着系 カプセル型 ※有機系 ・ 無機系
12	12 ウレタン 樹脂ウニス 塗り(UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 A種 ※ B種	8	8 3 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存鉄筋コンクリート 内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず ※図示 ・ 全ての撤去部分残す ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去 ※図示 ・ 全ての撤去部分範囲の周囲より一定 ・ 適用なし 長さを残し切断する ・ コンクリート 撤去範囲の鉄筋は切断する ※図示 (全ての撤去部分) ・ 適用なし	9	9 割製補強筋 (8.19.6) (8.20.7)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数、ピッチ 適用箇所 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ※6φ スパイラル径(mm) ※図示 ※スパイラル ※6φ ・ 9φ ・ D6 < 120 > スパイラル径(mm) < 50 > ※はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋) ※SR295A ※D10 壁内方向筋 < > 壁面外方向筋 < >	8	8 1 (あと施工アカー) (あと施工アカー)の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ※本体打込み式・改良型・従来型 ・ 接着系 カプセル型 ※有機系 ・ 無機系
13	13 オイルシム塗り (OS) (7.13.2) (表7.13.1参照)	(表7.13.1参照)	8	8 3 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存鉄筋コンクリート 内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず ※図示 ・ 全ての撤去部分残す ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去 ※図示 ・ 全ての撤去部分範囲の周囲より一定 ・ 適用なし 長さを残し切断する ・ コンクリート 撤去範囲の鉄筋は切断する ※図示 (全ての撤去部分) ・ 適用なし	9	9 割製補強筋 (8.19.6) (8.20.7)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数、ピッチ 適用箇所 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ※6φ スパイラル径(mm) ※図示 ※スパイラル ※6φ ・ 9φ ・ D6 < 120 > スパイラル径(mm) < 50 > ※はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋) ※SR295A ※D10 壁内方向筋 < > 壁面外方向筋 < >	8	8 1 (あと施工アカー) (あと施工アカー)の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ※本体打込み式・改良型・従来型 ・ 接着系 カプセル型 ※有機系 ・ 無機系
14	14 木材保護塗料 塗り(WP) (7.14.2) (表7.14.1)	種別 A種 ※ B種	8	8 3 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存鉄筋コンクリート 内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず ※図示 ・ 全ての撤去部分残す ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去 ※図示 ・ 全ての撤去部分範囲の周囲より一定 ・ 適用なし 長さを残し切断する ・ コンクリート 撤去範囲の鉄筋は切断する ※図示 (全ての撤去部分) ・ 適用なし	9	9 割製補強筋 (8.19.6) (8.20.7)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数、ピッチ 適用箇所 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ※6φ スパイラル径(mm) ※図示 ※スパイラル ※6φ ・ 9φ ・ D6 < 120 > スパイラル径(mm) < 50 > ※はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋) ※SR295A ※D10 壁内方向筋 < > 壁面外方向筋 < >	8	8 1 (あと施工アカー) (あと施工アカー)の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ※本体打込み式・改良型・従来型 ・ 接着系 カプセル型 ※有機系 ・ 無機系
15	15 マスチック塗料 塗り (7.15.2) (表7.15.1)	種別 A種 ※ B種	8	8 3 既存構造体の撤去 (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2)(8.22.2) (8.19.2)(8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存鉄筋コンクリート 内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず ※図示 ・ 全ての撤去部分残す ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去 ※図示 ・ 全ての撤去部分範囲の周囲より一定 ・ 適用なし 長さを残し切断する ・ コンクリート 撤去範囲の鉄筋は切断する ※図示 (全ての撤去部分) ・ 適用なし	9	9 割製補強筋 (8.19.6) (8.20.7)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数、ピッチ 適用箇所 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ※6φ スパイラル径(mm) ※図示 ※スパイラル ※6φ ・ 9φ ・ D6 < 120 > スパイラル径(mm) < 50 > ※はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋) ※SR295A ※D10 壁内方向筋 < > 壁面外方向筋 < >	8	8 1 (あと施工アカー) (あと施工アカー)の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ※本体打込み式・改良型・従来型 ・ 接着系 カプセル型 ※有機系 ・ 無機系



付近見取図



配置図 S=1/800

■ : 改修工事建物部分を示す


工事名 / Title
津市立西橋内中学校理科室床改修工事

図面種別 / Drawing
付近見取図・配置図
縮尺 / Scale 原図: A2
S=1/800
日付 / Date

Check

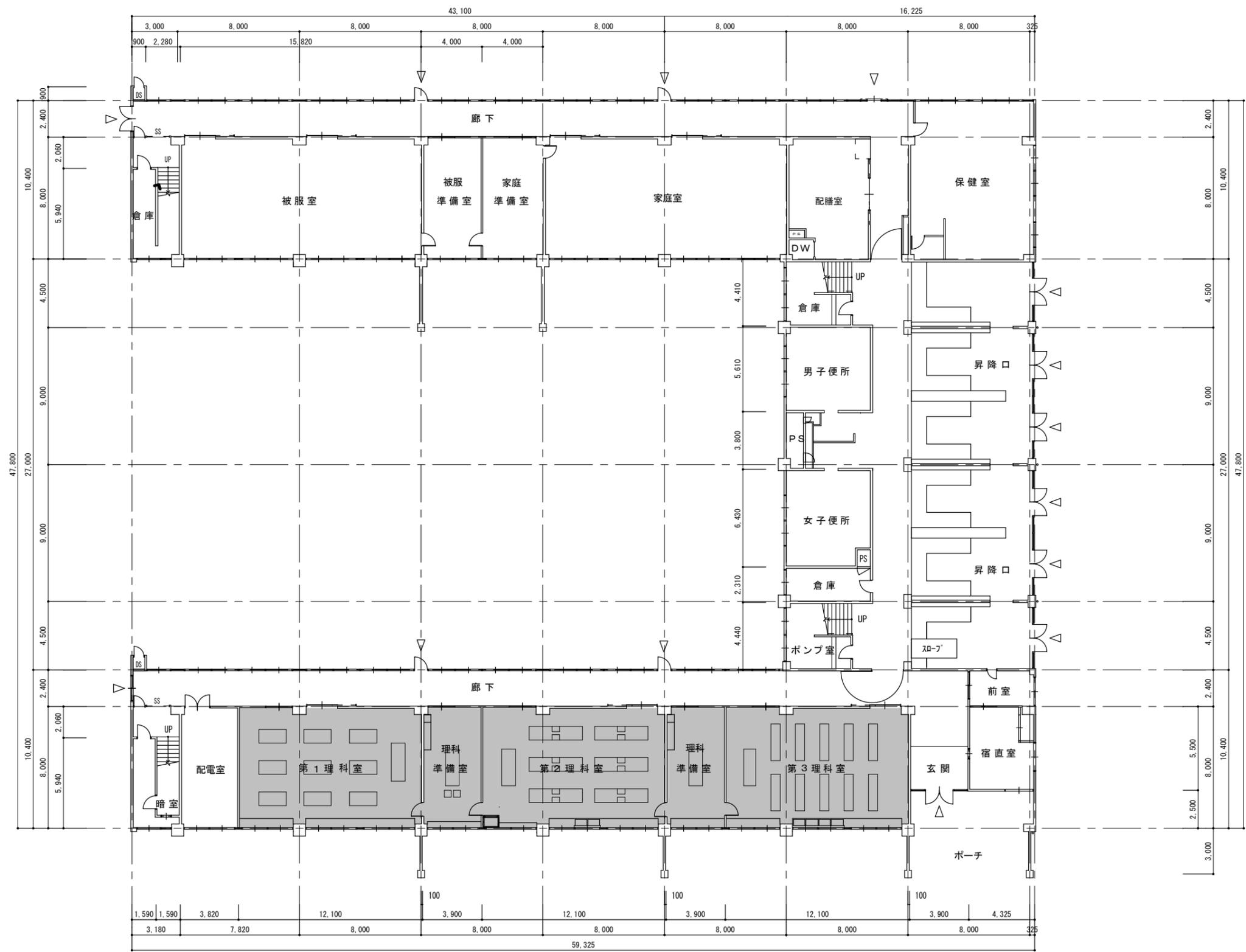
No.
A-05

**合資会社 重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治

□ 仕上表									
階	室名	部位	改修前			改修後	天井高	備考	
			仕上	天井高	撤去				
1	新 第1理科室	床	エポキシ系塗床		土間コンクリート(有筋)撤去	砕石転圧の上防湿フィルムt=0.15の上 土間コンクリートt=150 D13 @200 (行・30共)モルタル金コテ下地エポキシ系塗床 t 0.8mm		金属系あと施工アンカー-D13 @400	
		巾木	モルタル金コテH=100 VP 木製 H=100 OP			既存のまま 木造間仕切り撤去: 塩ビ製 H=100			
		壁	モルタル金コテ EP シナ合板 t=6.0 OP			既存のまま 木造間仕切り撤去:LGS壁W90スタッド@455不燃Pbt12.5+12.5両面2重張り EP (1時間耐火 FP06GNP-0289)			
	旧 第3理科室	天井	有孔石膏ボード目透貼 t=9.5 EP	3.020		既存のまま 一部PB t9.5目透貼 EP 廻縁:一部塩ビ製	3.020		
		備考			準備室境木造間仕切り撤去 戸棚	戸棚撤去部:壁、巾木新規仕上げのこと 巾木 塩ビ製 H=100 壁 モルタル金コテ EP		生徒用実験台(9台)脱着 木製黒板(900×3600)脱着 教師用実験台(1台)脱着 作業台3500×450(新規) 掲示板1720×900(新規)	
	新 第2理科室	床	エポキシ系塗床		土間コンクリート(有筋)撤去	砕石転圧の上防湿フィルムt=0.15の上 土間コンクリートt=150 D13 @200 (行・30共)モルタル金コテ下地エポキシ系塗床 t 0.8mm		金属系あと施工アンカー-D13 @400	
		巾木	モルタル金コテH=100 VP 木製 H=100 OP			既存のまま 木造間仕切り撤去: 塩ビ製 H=100			
		壁	モルタル金コテ EP シナ合板 t=6.0 OP			既存のまま 木造間仕切り撤去:LGS壁W90スタッド@455不燃Pbt12.5+12.5両面2重張り EP (1時間耐火 FP06GNP-0289)			
	旧 第2理科室	天井	有孔石膏ボード目透貼 t=9.5 EP	3.020		既存のまま 一部PB t9.5目透貼 EP 廻縁:一部塩ビ製	3.020		
		備考			ドラフトチャンパー、戸棚 準備室境木造間仕切り撤去	戸棚、ドラフトチャンパー 巾木 塩ビ製 H=100 撤去部:壁、巾木新規仕上げのこと 壁 モルタル金コテ EP		生徒用実験台(6台)脱着 木製黒板(900×3600)脱着 教師用実験台(1台)脱着 作業台3500×450(新規) 掲示板1720×900(新規)	
	新 多目的教室	床	エポキシ系塗床		土間コンクリート(有筋)撤去	砕石転圧の上防湿フィルムt=0.15の上 土間コンクリートt=150 D13 @200 (行・30共)モルタル金コテ下地エポキシ系塗床 t 0.8mm		金属系あと施工アンカー-D13 @400	
		巾木	モルタル金コテH=100 VP 木製 H=100 OP			既存のまま		面台:LGSw50下地PB t=12.5 EP塗 SUS304 HL 150×25×1000 t=1.5 塩ビ製巾木 H=100 手洗器(支給品)(設備工事)	
壁		モルタル金コテ EP シナ合板 t=6.0 OP			既存のまま				
旧 第1理科室	天井	有孔石膏ボード目透貼 t=9.5 EP	3.020		既存のまま	3.020			
	備考						生徒用実験台(9台)脱着 教師用実験台(1台)脱着		
準備室	床	エポキシ系塗床		土間コンクリート(有筋)撤去	砕石転圧の上防湿フィルムt=0.15の上 土間コンクリートt=150 D13 @200 (行・30共)モルタル金コテ下地エポキシ系塗床 t 0.8mm		金属系あと施工アンカー-D13 @400		
	巾木	モルタル金コテH=100 VP 木製 H=100 OP			既存のまま 木造間仕切り撤去: 塩ビ製 H=100				
	壁	モルタル金コテ EP シナ合板 t=6.0 OP			既存のまま 木造間仕切り撤去:LGS壁W90スタッド@455不燃Pbt12.5+12.5両面2重張り EP (1時間耐火 FP06GNP-0289)				
	天井	有孔石膏ボード目透貼 t=9.5 EP	3.020		既存のまま 一部PB t9.5目透貼 EP	3.020			
	備考			劇業庫(床下)			実験台(脱着)、戸棚(脱着)、掃除具入(脱着)		
準備室	床	エポキシ系塗床		土間コンクリート(有筋)撤去	砕石転圧の上防湿フィルムt=0.15の上 土間コンクリートt=150 D13 @200 (行・30共)モルタル金コテ下地エポキシ系塗床 t 0.8mm		金属系あと施工アンカー-D13 @400		
	巾木	モルタル金コテH=100 VP 木製 H=100 OP			既存のまま 木造間仕切り撤去: 塩ビ製 H=100				
	壁	モルタル金コテ EP シナ合板 t=6.0 OP			既存のまま 木造間仕切り撤去:LGS壁W90スタッド@455不燃Pbt12.5+12.5両面2重張り EP (1時間耐火 FP06GNP-0289)				
	天井	有孔石膏ボード目透貼 t=9.5 EP	3.020		既存のまま 一部PB t9.5目透貼 EP	3.020			
	備考						実験台(脱着)、戸棚(脱着)、掃除具入(脱着)		

工事名/Title			図面種別/Drawing		Check	No.
津市立西橋内中学校理科室床改修工事			仕上表			A-06
			縮尺/Scale	原図:A2	日付/Date	


**合資会社 重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治



■ : 改修箇所


工事名 / Title  
**津市立西橋内中学校理科室改修工事**

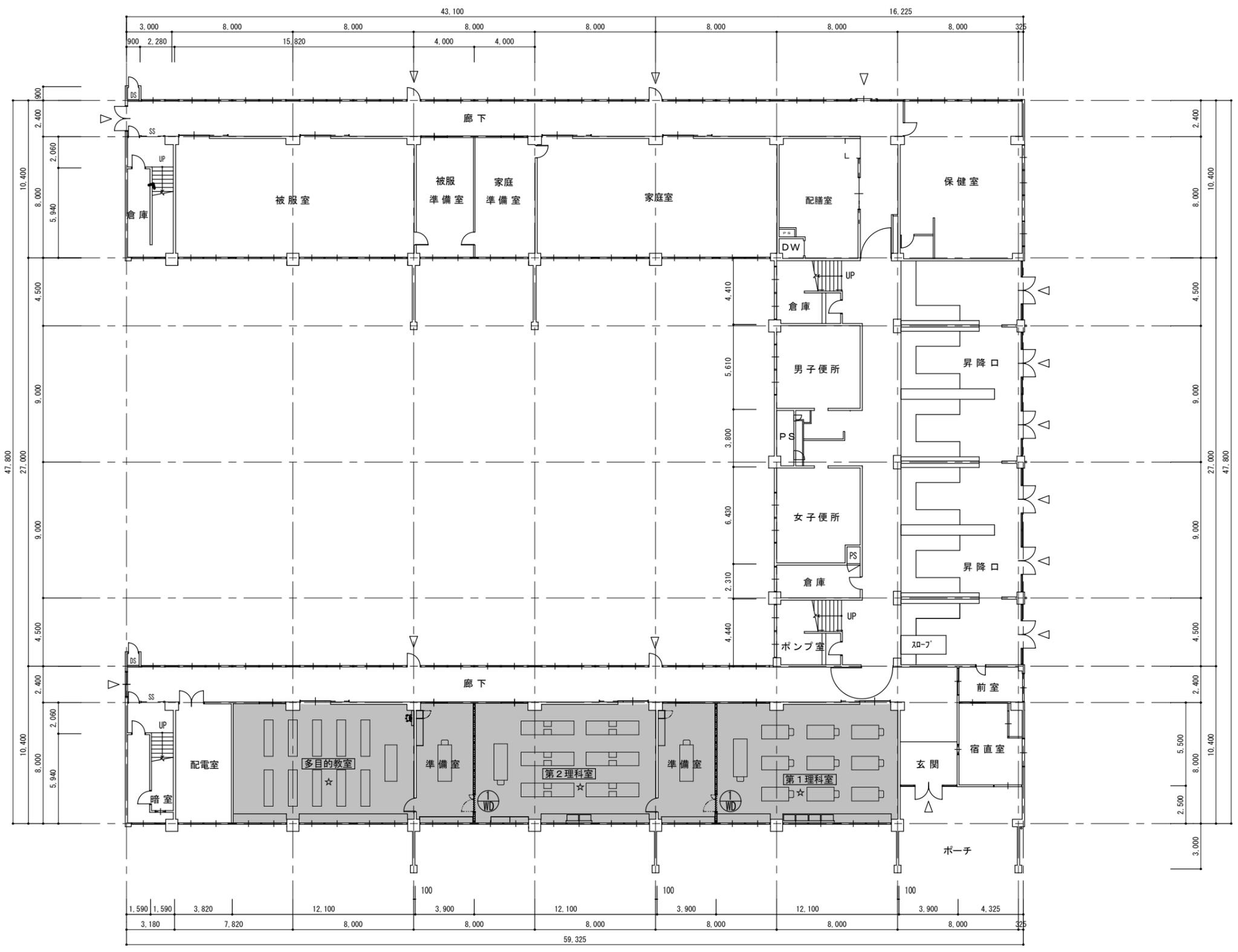
図面種別 / Drawing  
 管理棟、普通・特別教室棟 **改修前 1階平面図**

縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date  
 S=1/200

Check

No.  
 A-07

**合資会社 重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治



: 改修箇所  
 ☆ : 化学物質の濃度測定箇所を示す

.	.
.	.
.	.
.	.

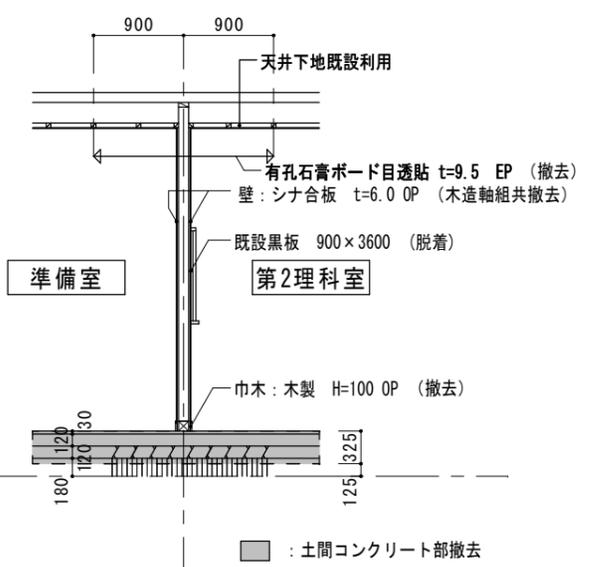
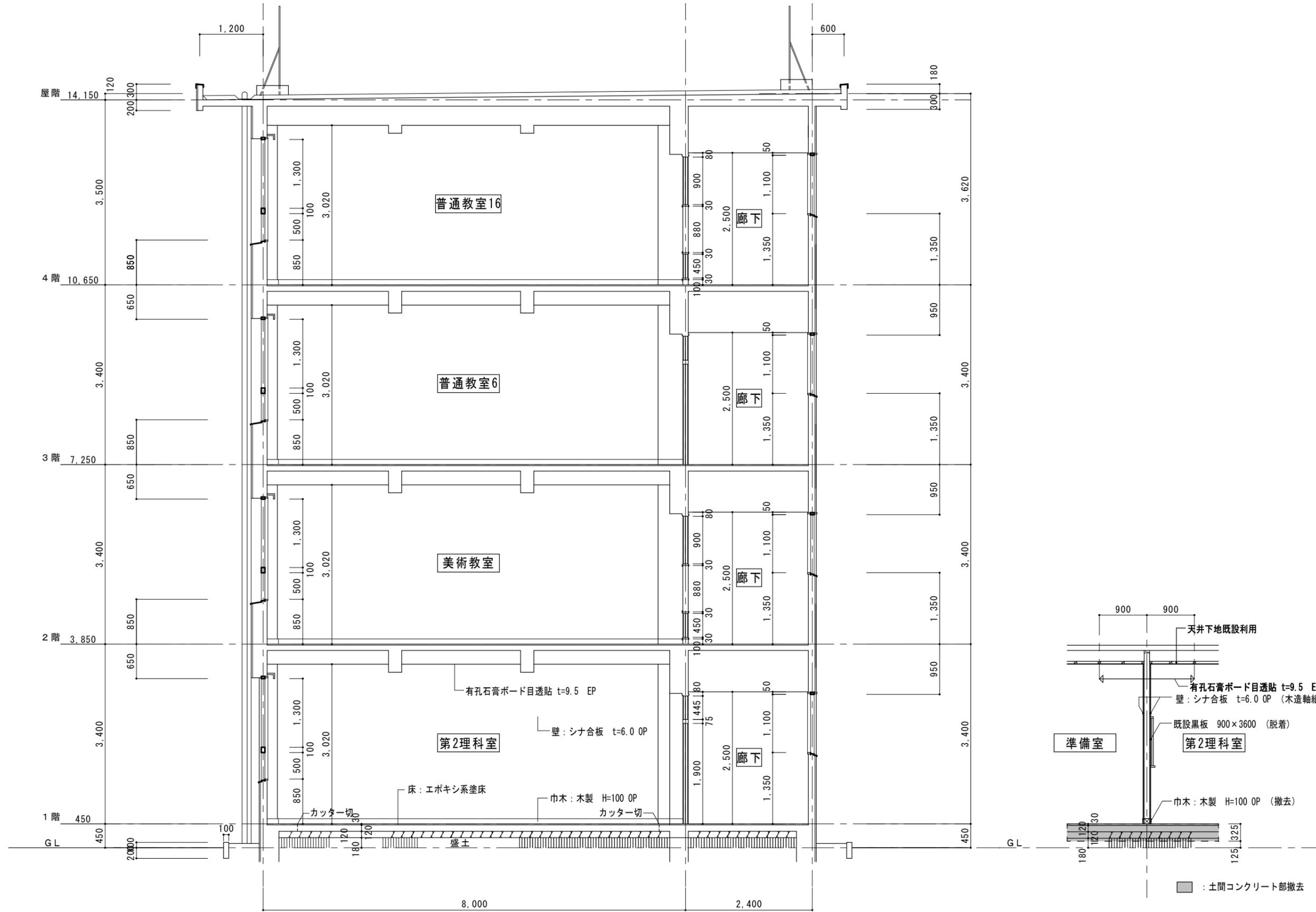
工事名 / Title  
**津市立西橋内中学校理科室改修工事**

図面種別 / Drawing  
 管理棟、普通・特別教室棟 改修後 1階平面図  
 縮尺 / Scale 原図・A2 日付 / Date  
 S=1/200

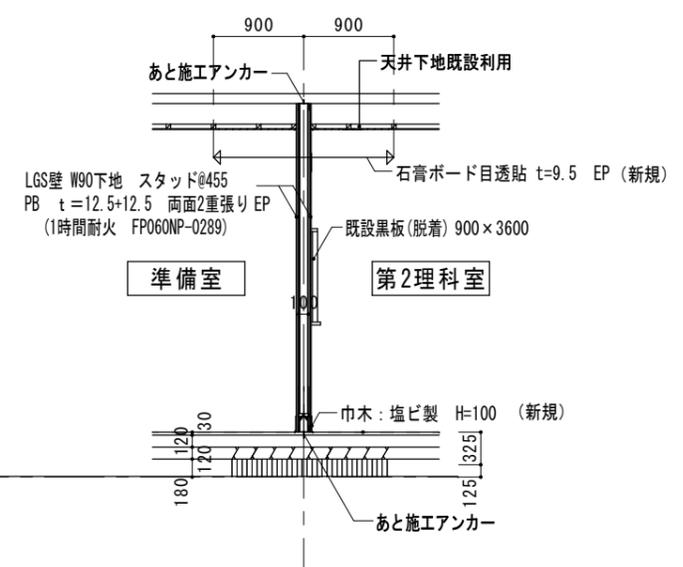
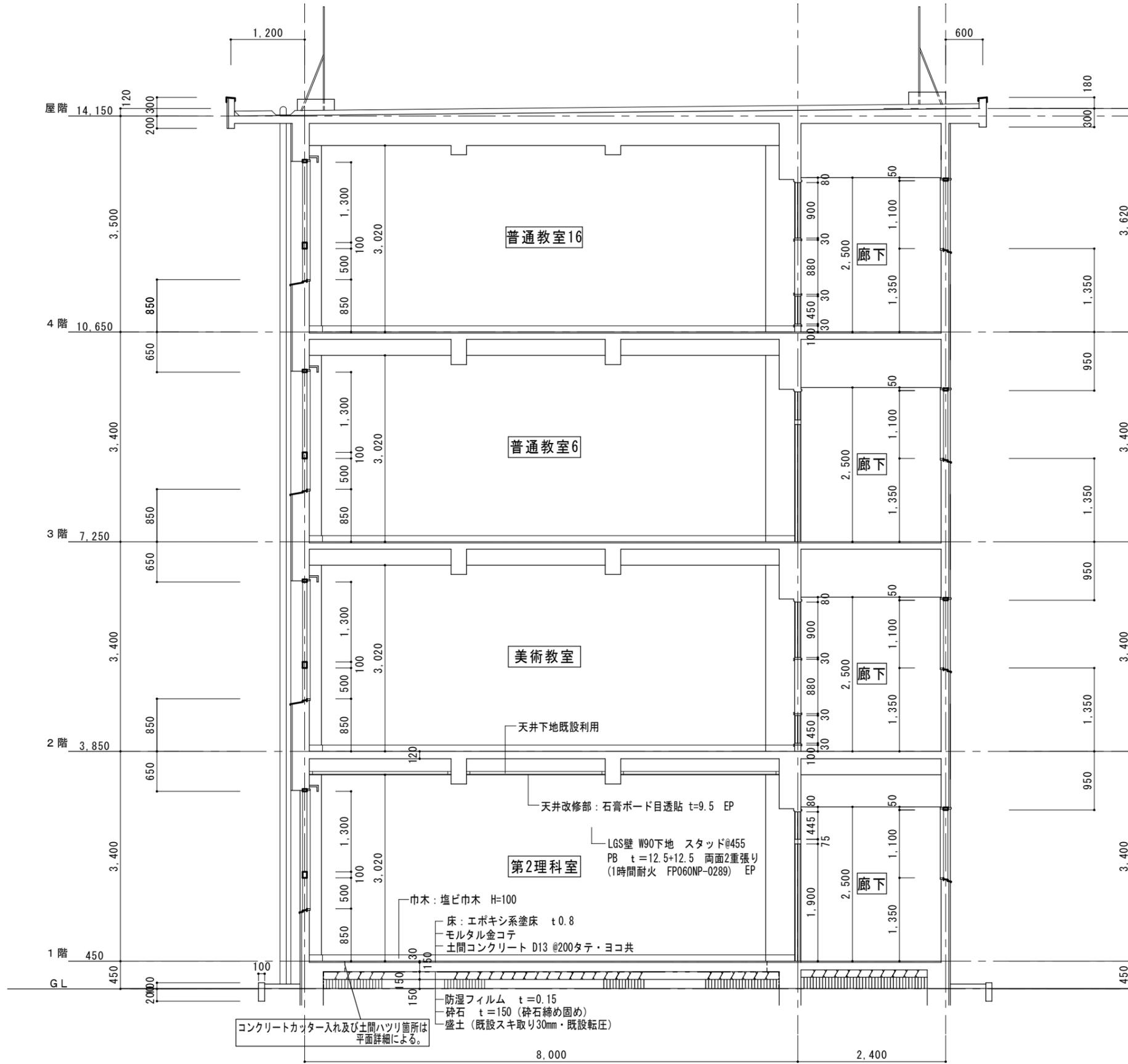
Check  
 No.

A-08

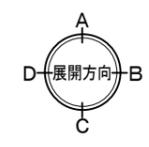
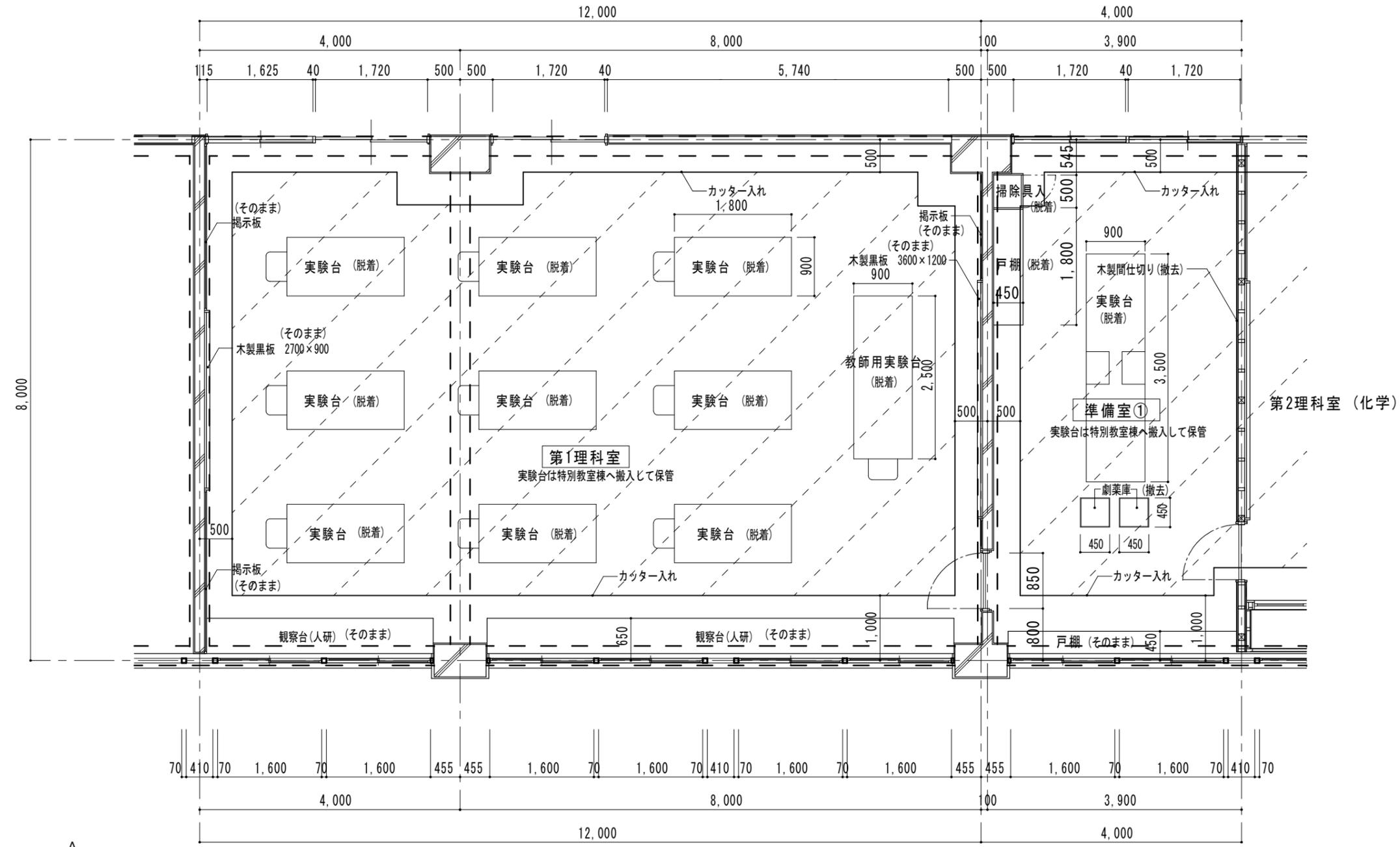
**合資会社 重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治



. . .	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立西橋内中学校理科室床改修工事	改修前 矩計詳細図		A-09	
. . .		縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date			
. . .		S=1/50			



図面種類 / Drawing <b>改修後 矩計詳細図</b>	Check No.	No. <b>A-10</b>	<b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
縮尺 / Scale 原図：A2 <b>S=1/50</b>	日付 / Date		



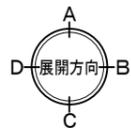
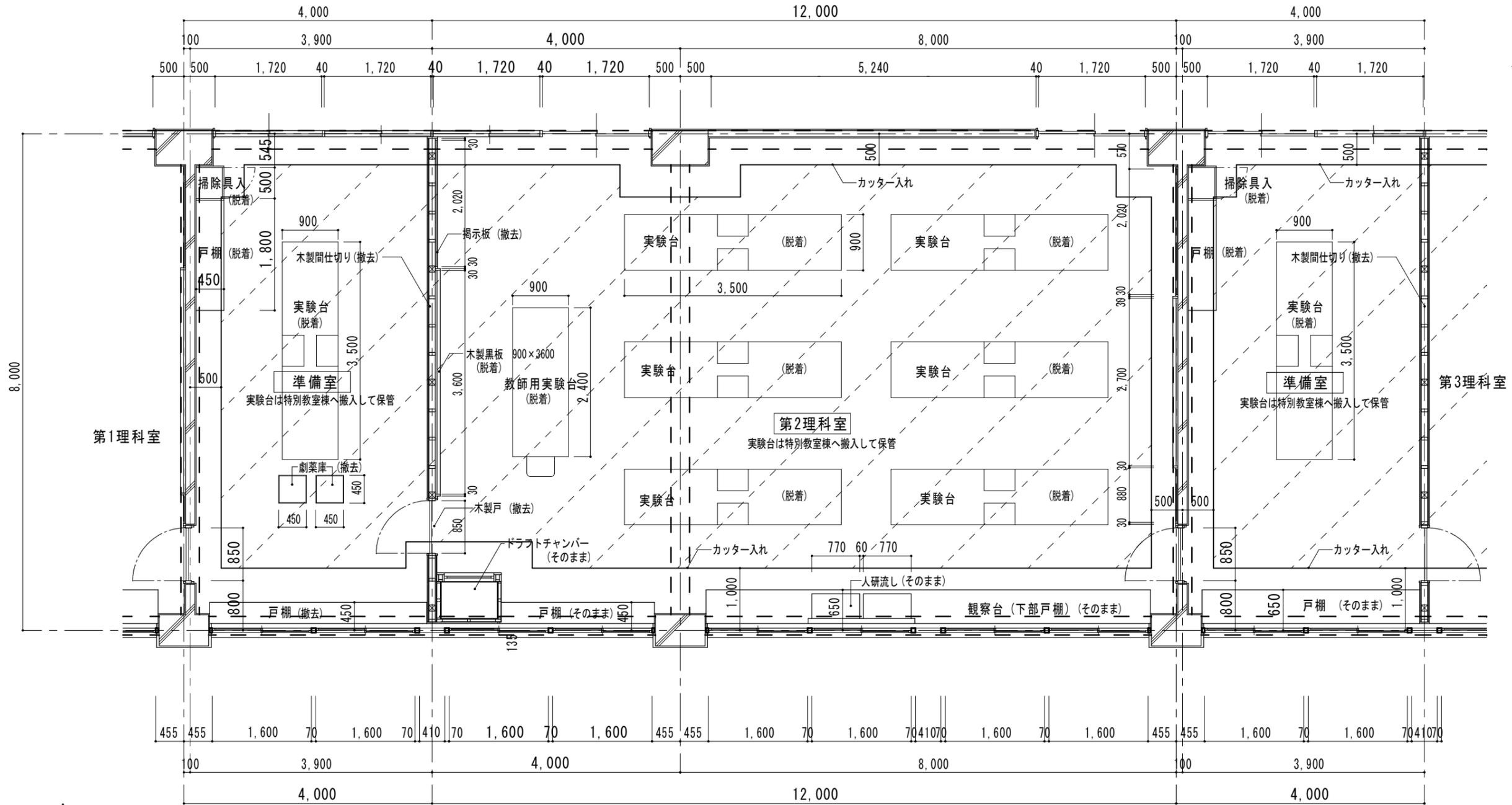
--- : 地中梁 (梁天端 F L -150)

▨ : 土間コンクリート ( t 120) ハツリ処分

共通事項: 実験台を特別教室棟へ搬出入する際は、養生を行うこと。

. . .	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.
	津市立西橋内中学校理科室床改修工事	第1理科室・準備室 改修前 平面詳細図		A-11
. . .	縮尺 / Scale	原図 : A2	日付 / Date	
	S=1/50			

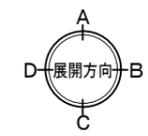
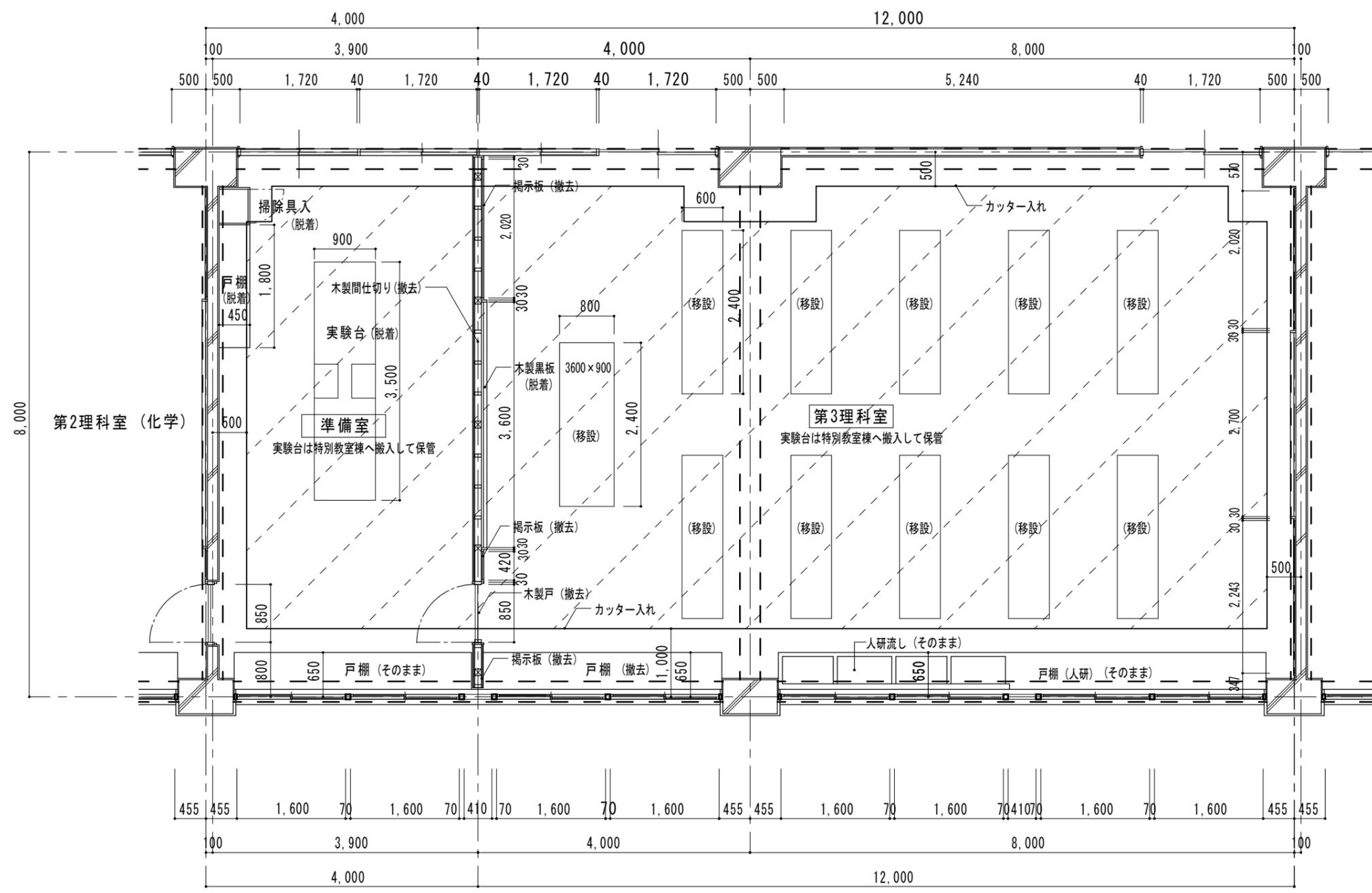

**合資会社 重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治



- : 地中梁 (梁天端 F L-150)
- : 土間コンクリート (t 120) ハツリ処分

共通事項: 実験台を特別教室棟へ搬入する際は、養生を行うこと。

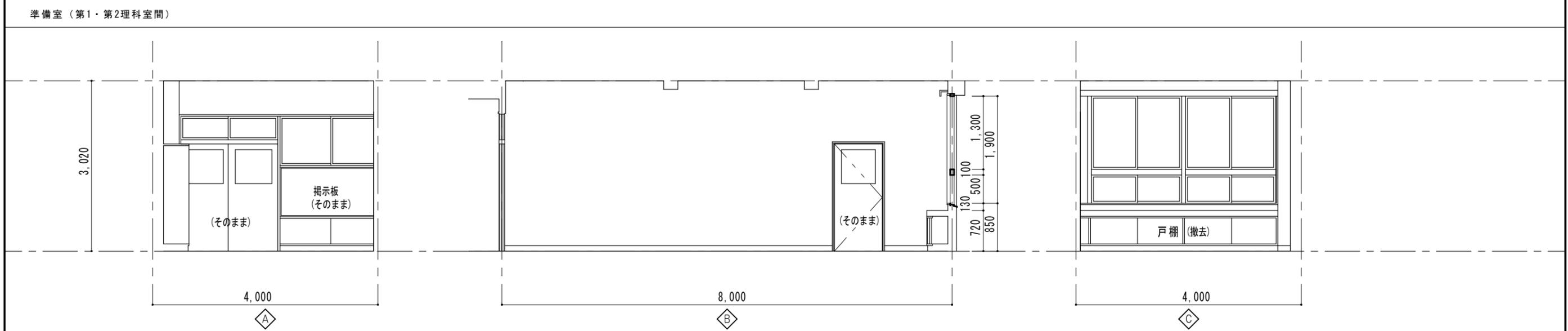
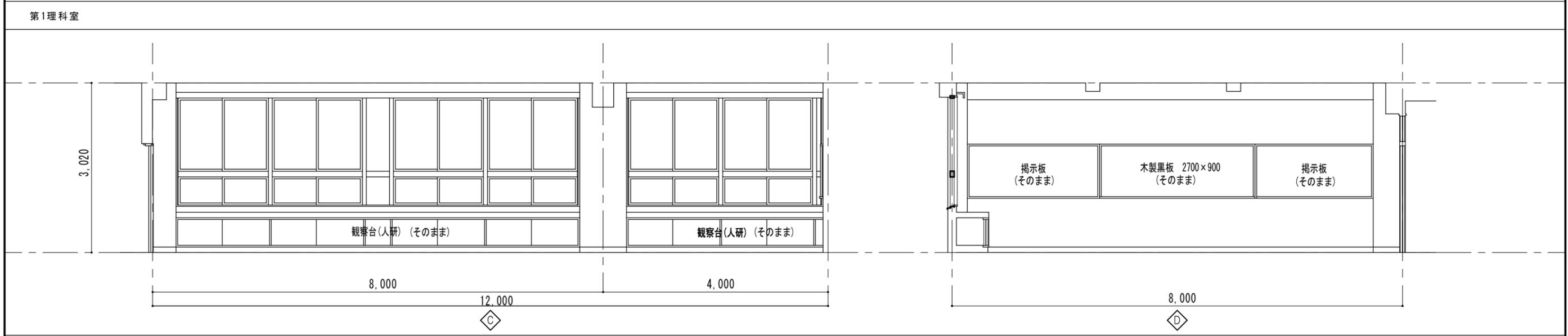
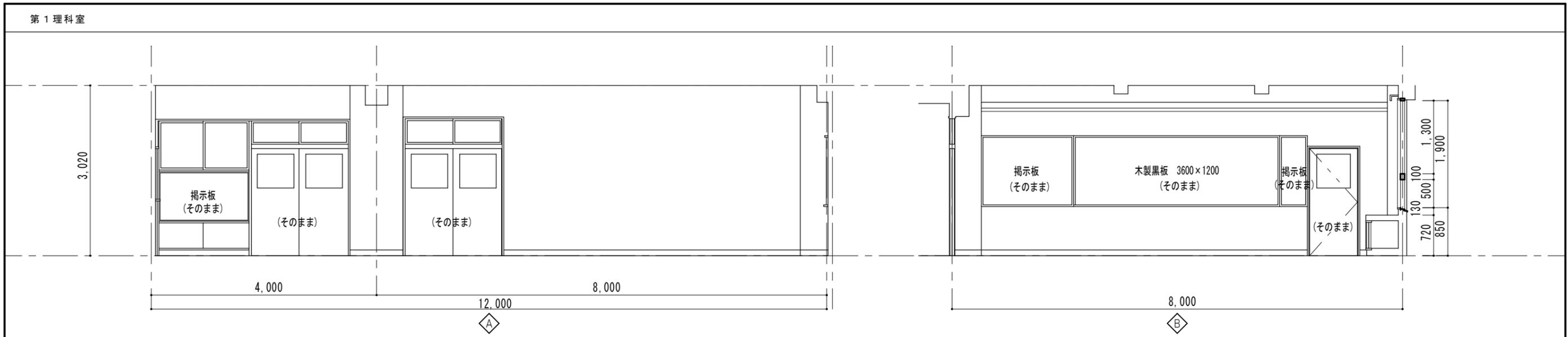
工事名 / Title <b>津市立西橋内中学校理科室床改修工事</b>		図面種別 / Drawing 第2理科室・準備室 改修前 平面詳細図		Check	No. A-12	<b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
		縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date S=1/50				



-  : 地中梁 (梁天端 F L -150)
-  : 土間コンクリート (t 120) ハツリ処分

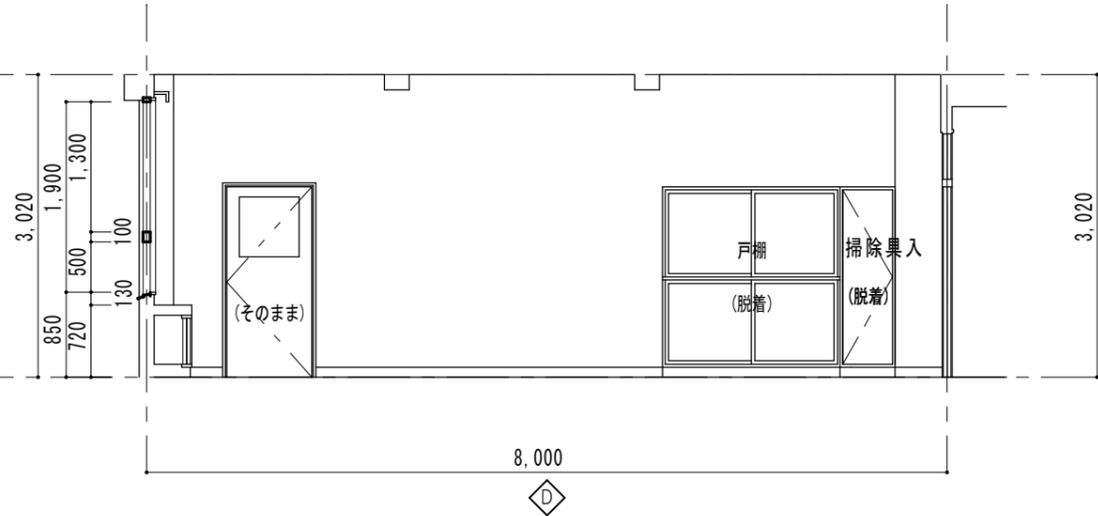
共通事項: 実験台を特別教室棟へ搬出入する際は、養生を行うこと。

	工事名 / Title <b>津市立西橋内中学校理科室床改修工事</b>	図面種別 / Drawing <b>第3理科室・準備室 改修前 平面詳細図</b>	Check	No. <b>A-13</b>	 <b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office <small>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号          一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</small>
		縮尺 / Scale <b>S=1/50</b>	原図 / A2 日付 / Date		

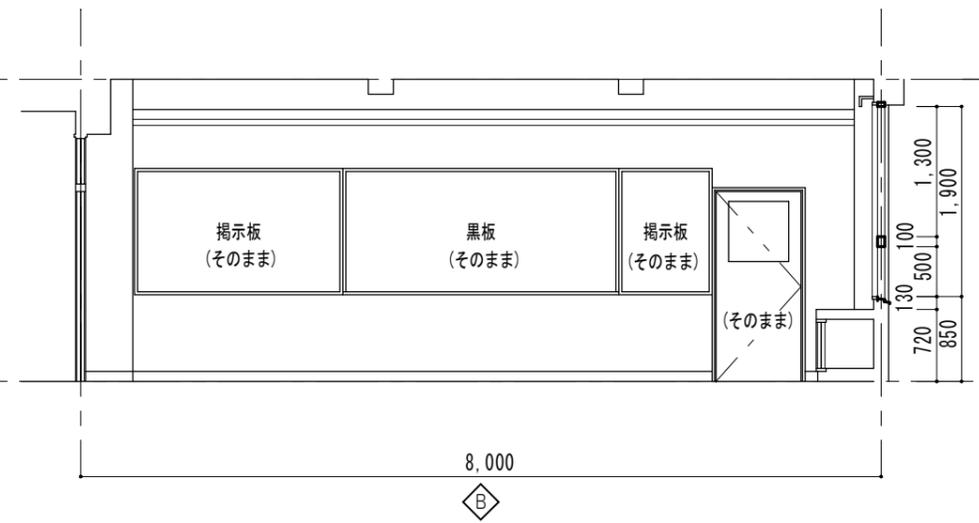
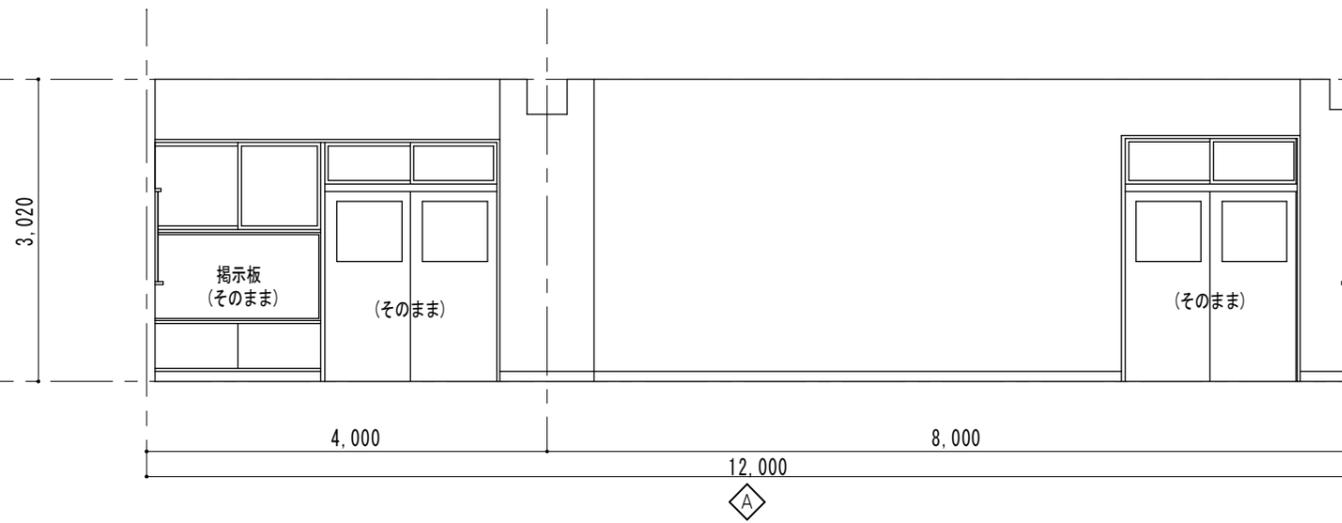


	工事名/Title	図面種別/Drawing	Check	No.	 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立西橋内中学校理科室床改修工事	第1理科室・準備室 改修前 展開図		A-14	
	縮尺/Scale	原図:A2 日付/Date			
	S=1/50				

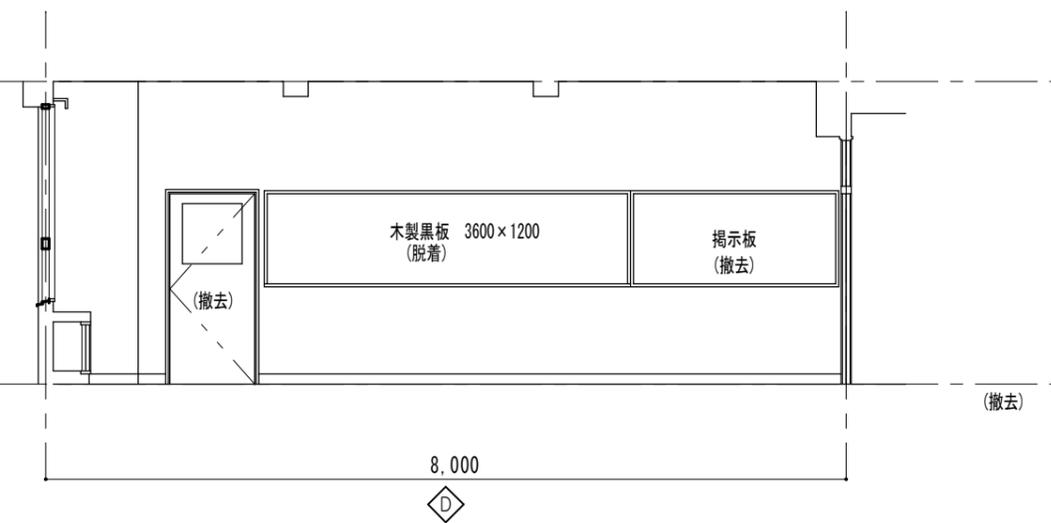
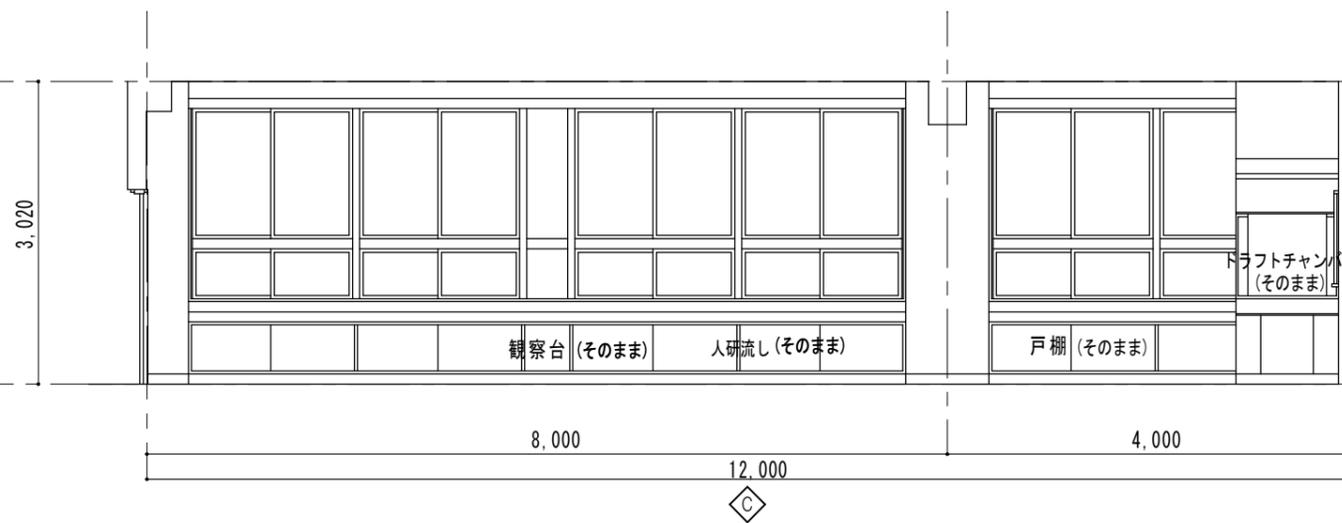
準備室（第1・第2理科室間）・第2理科室



第2理科室



第2理科室



工事名/Title

津市立西橋内中学校理科室床改修工事

図面種別/Drawing

第2理科室・準備室 改修前 展開図

Check

No.

A-15

縮尺/Scale

S=1/50

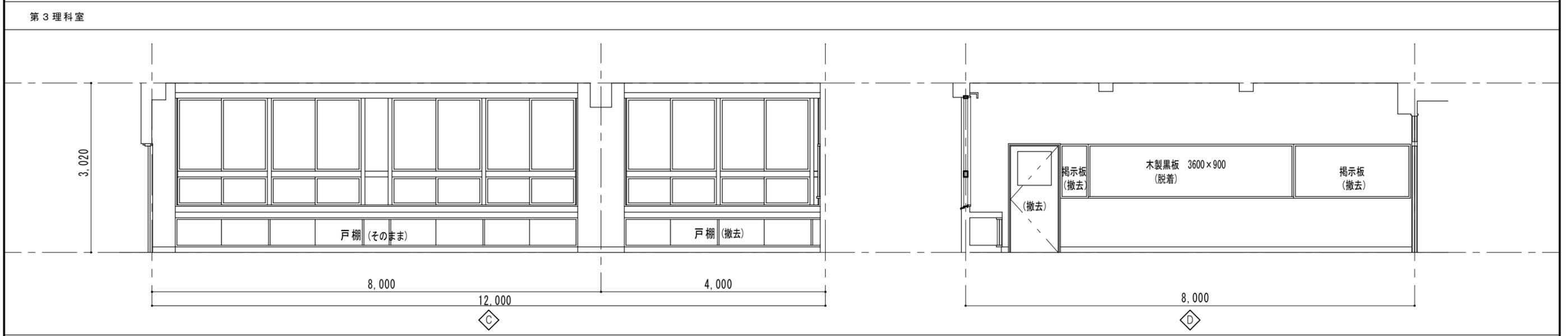
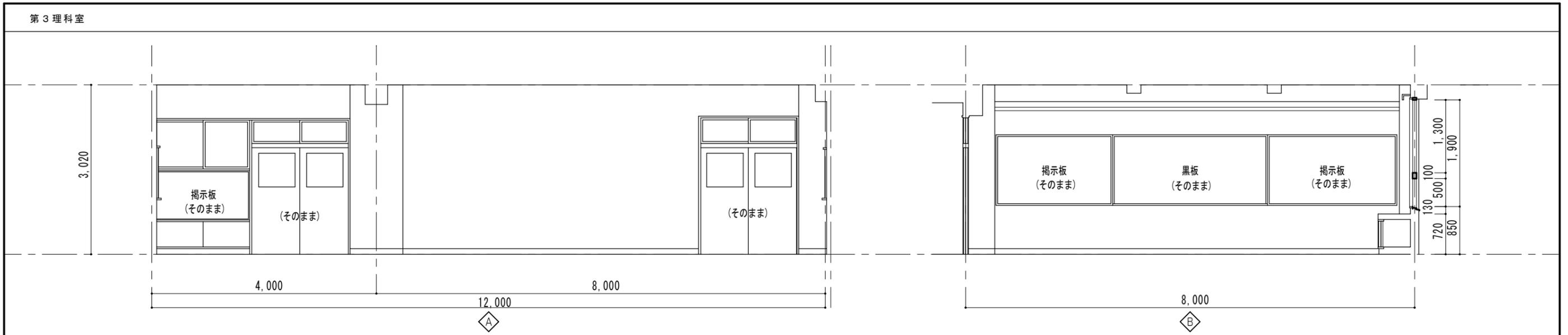
原図:A2

日付/Date

合資会社 重企建築事務所

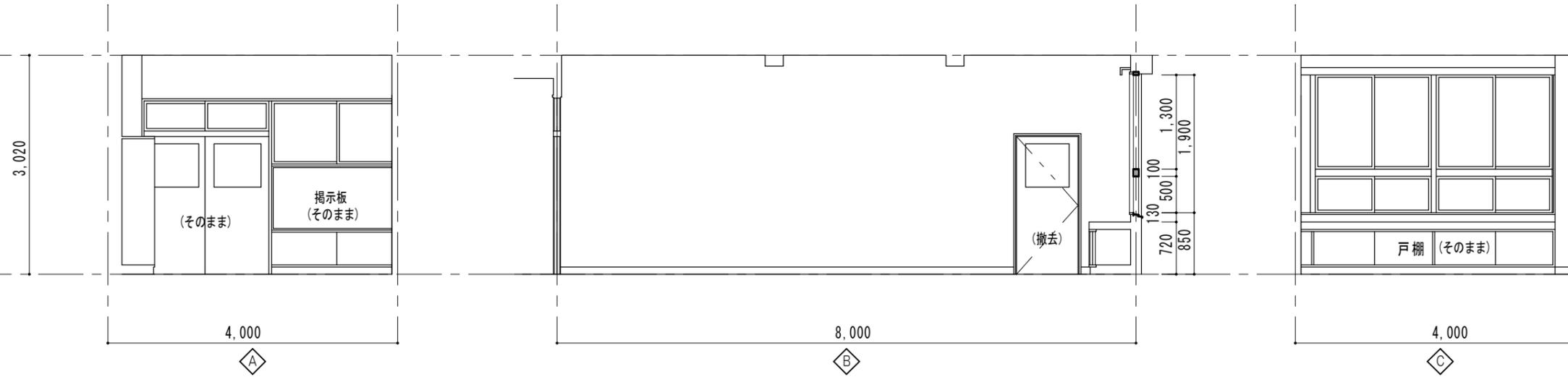
Jyuki Architectural Design Office

一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治

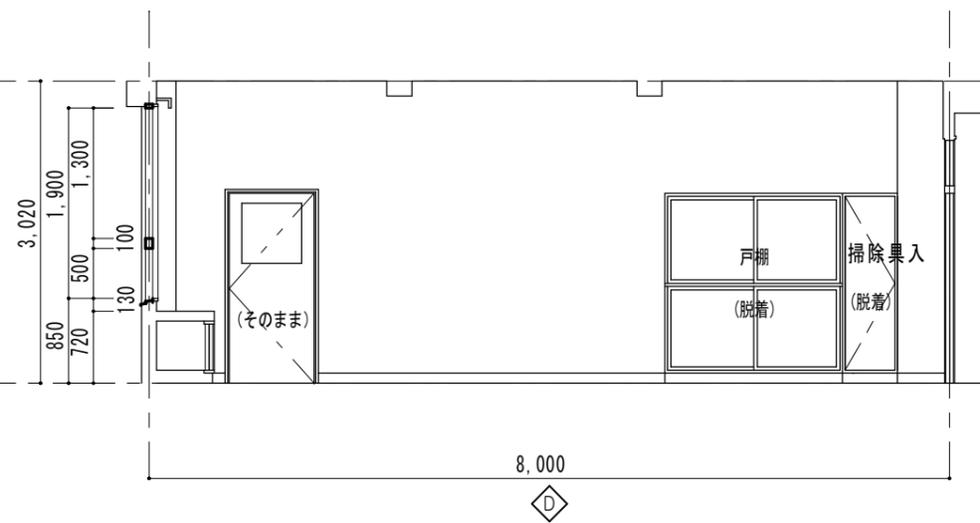


. . .	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立西橋内中学校理科室床改修工事	第3理科室 改修前 展開図			
. . .		原図: A2	日付 / Date		
. . .		S=1/50			

準備室（第2・第3理科室間）



準備室（第2・第3理科室間）



工事名 / Title

津市立西橋内中学校理科室床改修工事

図面種別 / Drawing

準備室 改修前 展開図

Check

No.

A-17

縮尺 / Scale

S=1/50

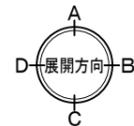
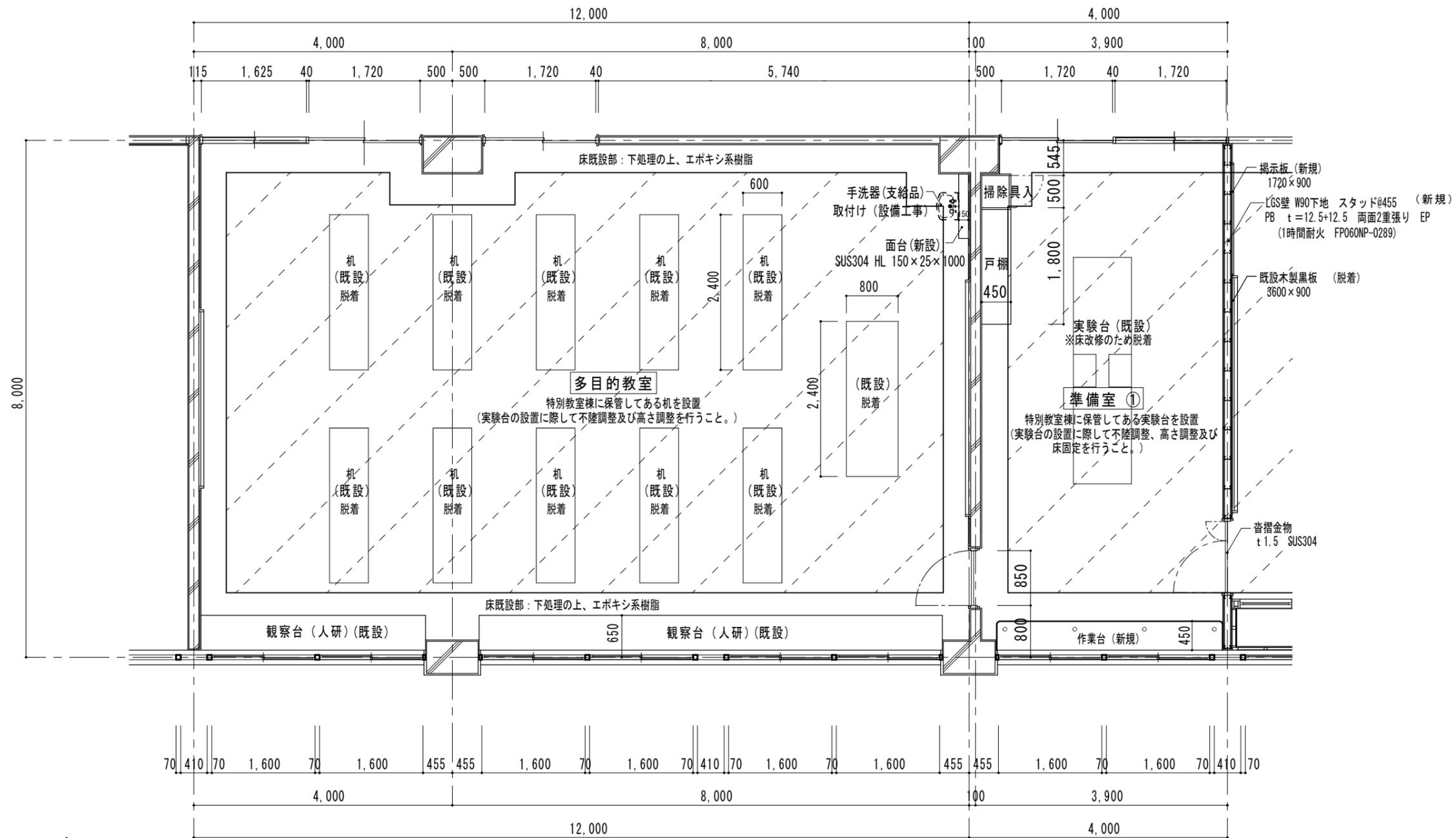
原図 : A2

日付 / Date

合資会社 重企建築事務所

Jyuki Architectural Design Office

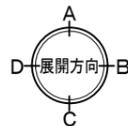
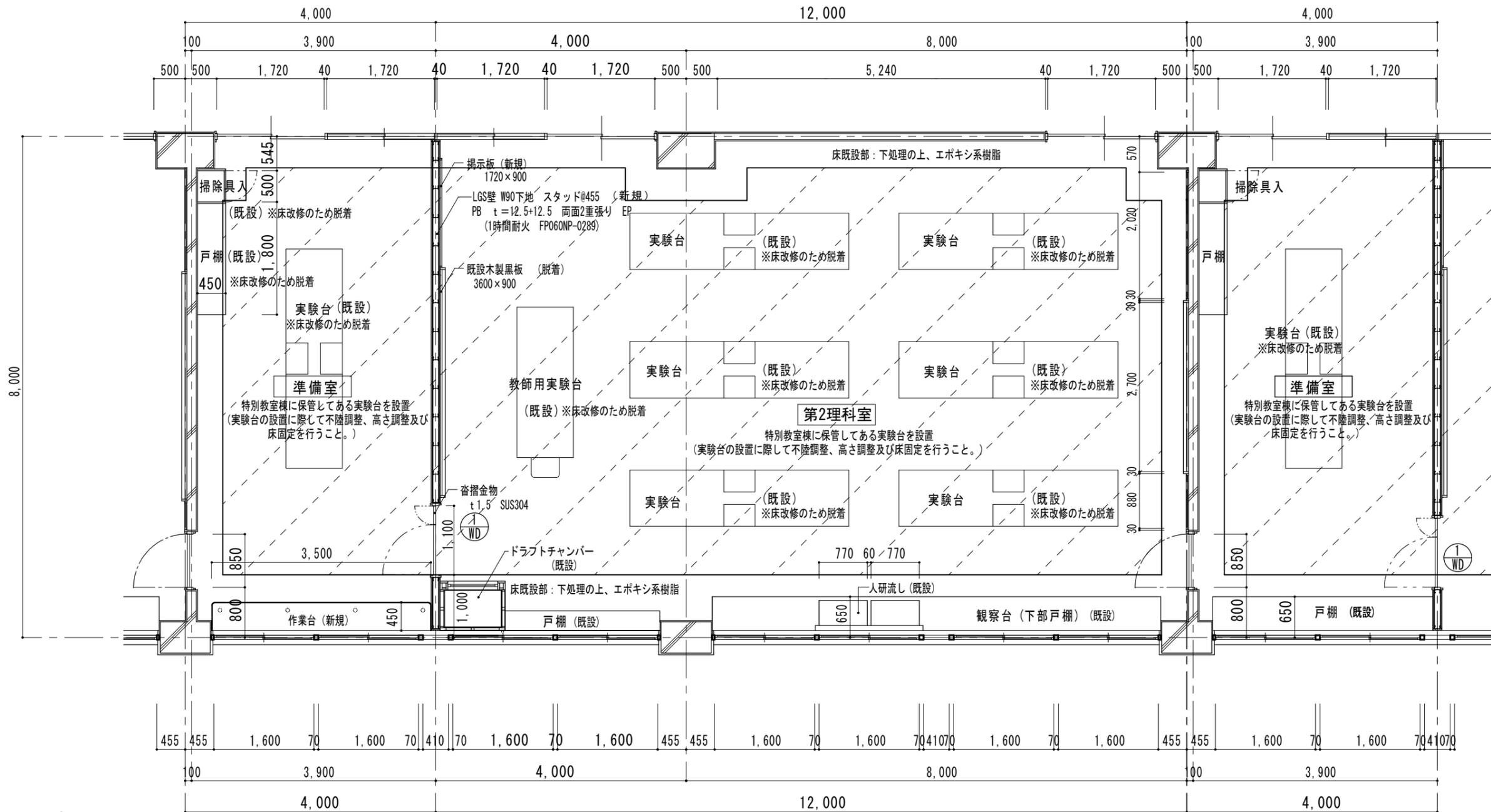
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治



: 土間コンクリート t=150 モルタル金コテ下地エポキシ系樹脂

共通事項: 実験台を特別教室棟へ搬出入する際は、養生を行うこと。

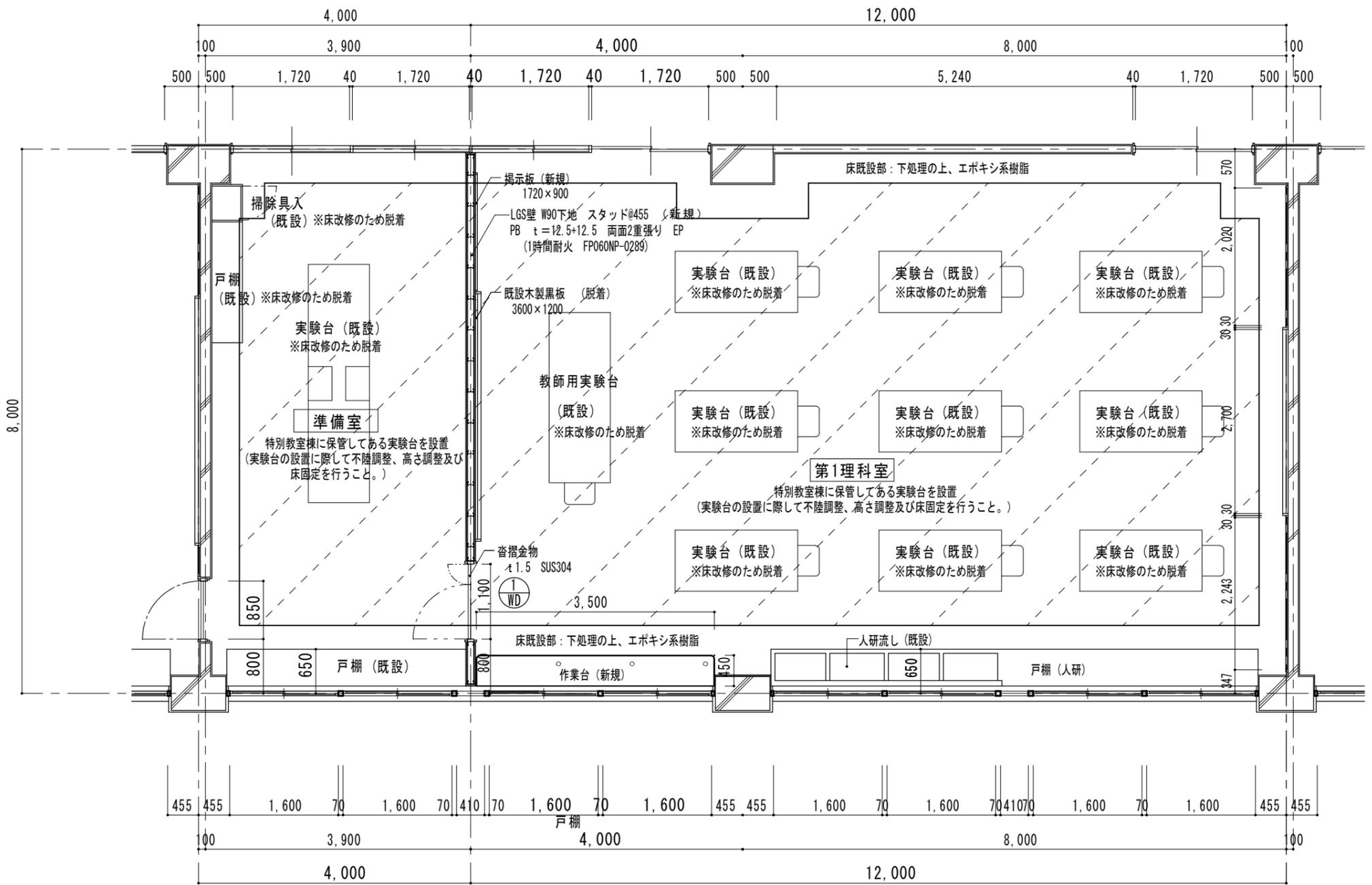
	工事名 / Title <b>津市立西橋内中学校理科室床改修工事</b>	図面種別 / Drawing 多目的教室・準備室 改修後 平面詳細図	Check	No. A-18	<b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office <small>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号          一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</small>
		縮尺 / Scale S=1/50	原図: A2 日付 / Date		



: 土間コンクリート t=150 モルタル金コテ下地エポキシ系樹脂

共通事項: 実験台を特別教室棟へ搬入する際は、養生を行うこと。

	工事名 / Title <b>津市立西橋内中学校理科室床改修工事</b>	図面種別 / Drawing 第2理科室・準備室 改修後 平面詳細図	Check	No. <b>A-19</b>	<b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office <small>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</small>
		縮尺 / Scale S=1/50	原図: A2	日付 / Date	

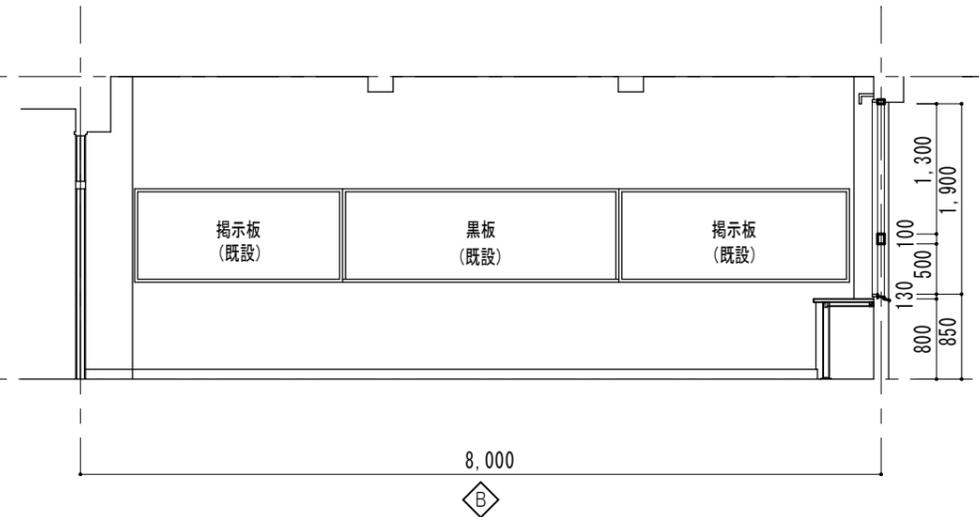
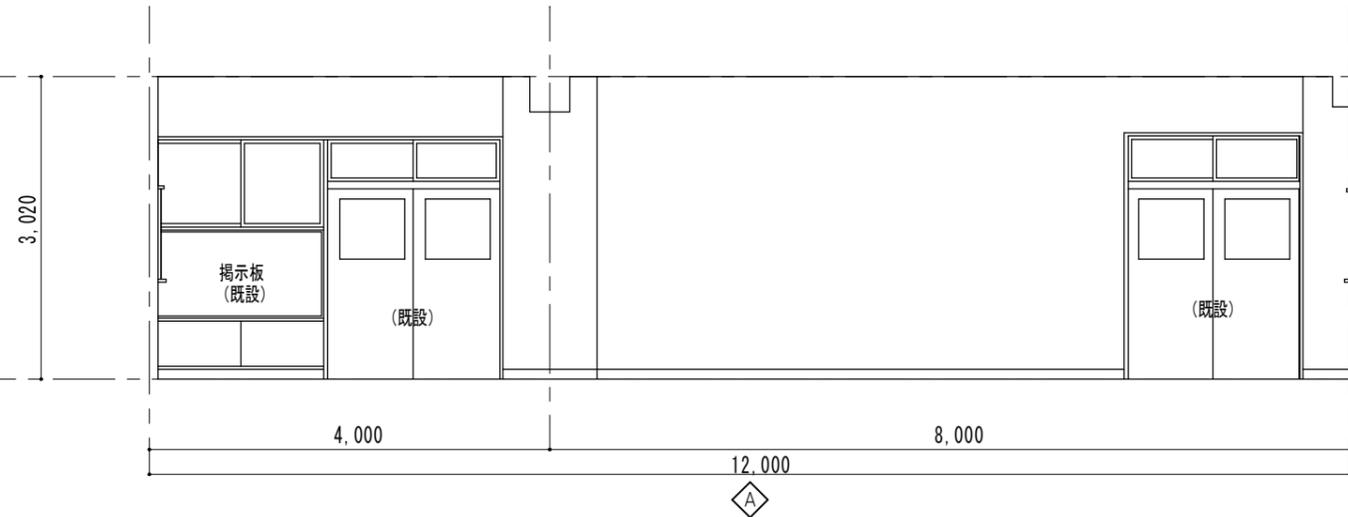


: 土間コンクリート t=150 モルタル金コテ下地エポキシ系樹脂

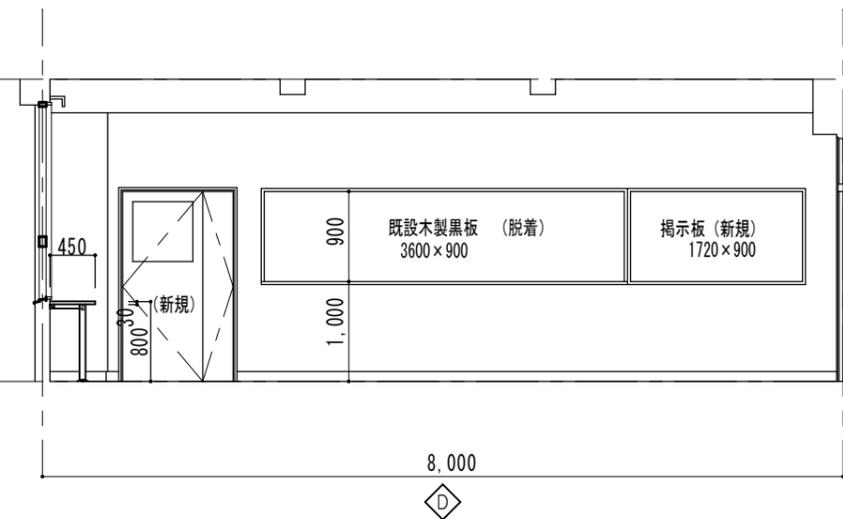
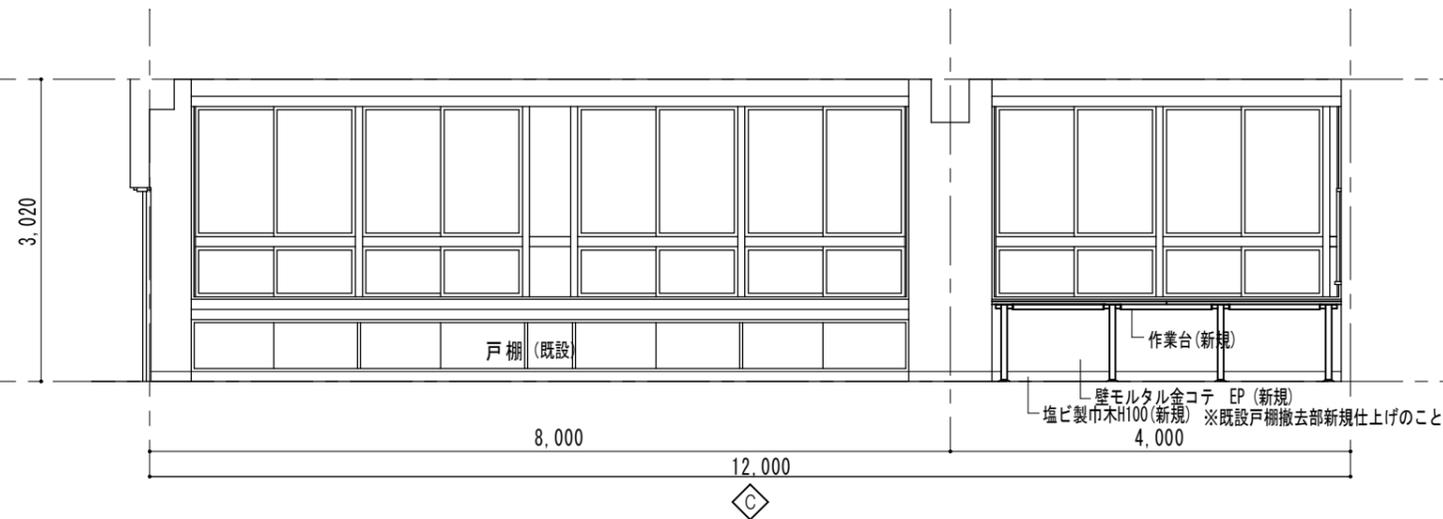
共通事項: 実験台を特別教室棟へ搬出入する際は、養生を行うこと。

	工事名 / Title <b>津市立西橋内中学校理科室床改修工事</b>	図面種別 / Drawing <b>第1理科室・準備室 改修後 平面詳細図</b>	Check	No.	<b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office <small>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</small>
		縮尺 / Scale 原図: A2 S=1/50	日付 / Date	A-20	

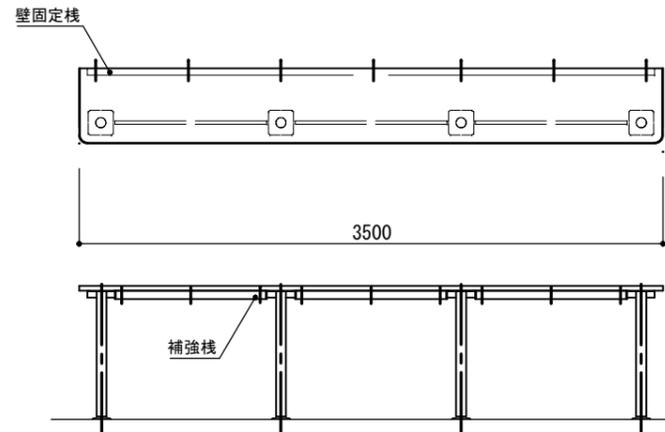
第1理科室



第1理科室

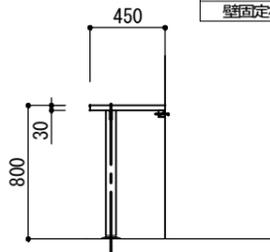


作業台



第1理科室 1台

名称	材質・仕様
天板	t30メラミン化粧板
脚	スチール角パイプ 塗装 φ60.5x1.6 4個
ベース	樹脂成形品 4個
補強棧	スチール角パイプ 塗装 3個
樹脂キャップ	樹脂キャップ 6個
壁固定棧	メラミン化粧板



工事名 / Title

津市立西橋内中学校理科室床改修工事

図面種別 / Drawing

第1理科室 改修後 展開図

Check

No.

A-21

縮尺 / Scale

S=1/50

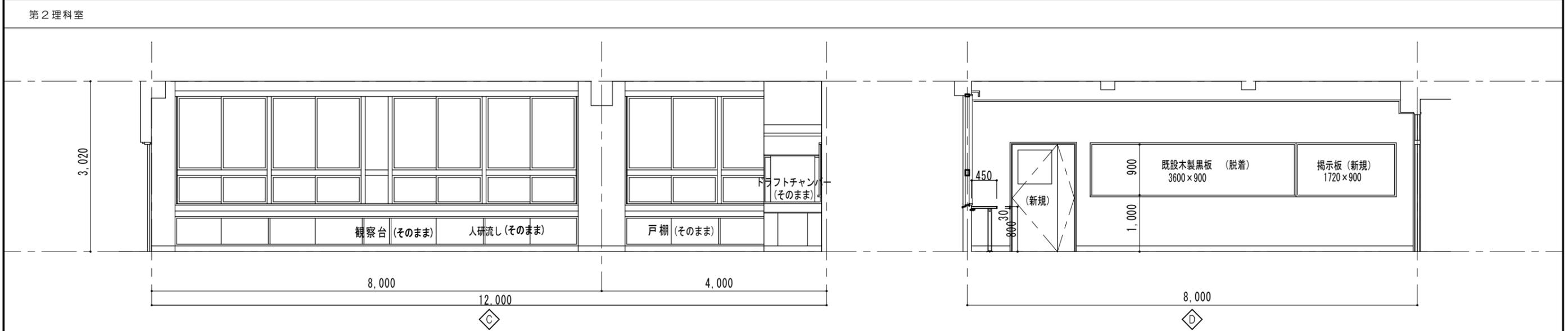
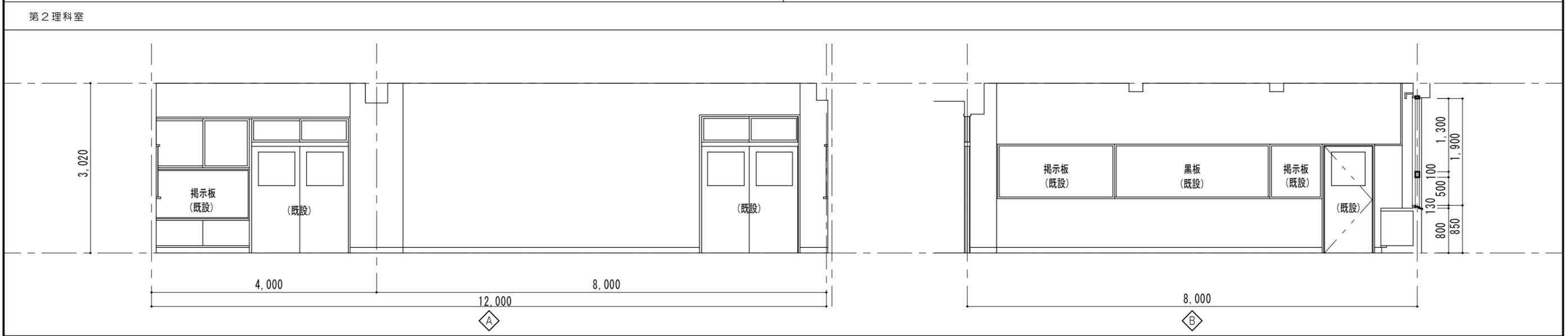
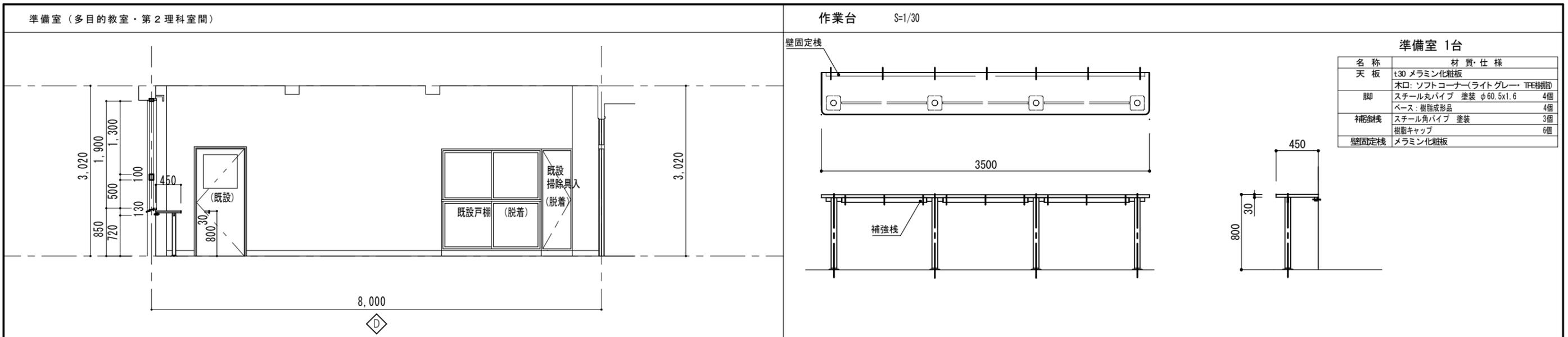
原図 : A2

日付 / Date

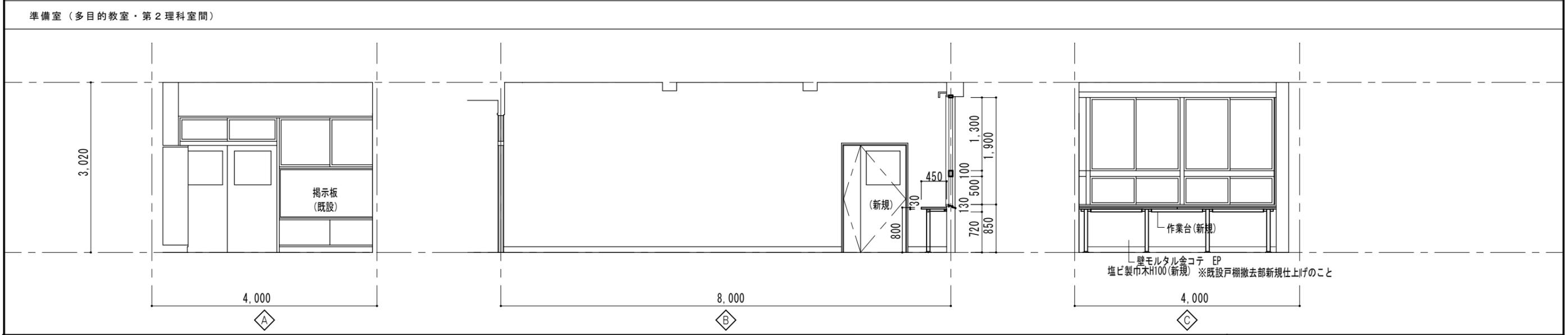
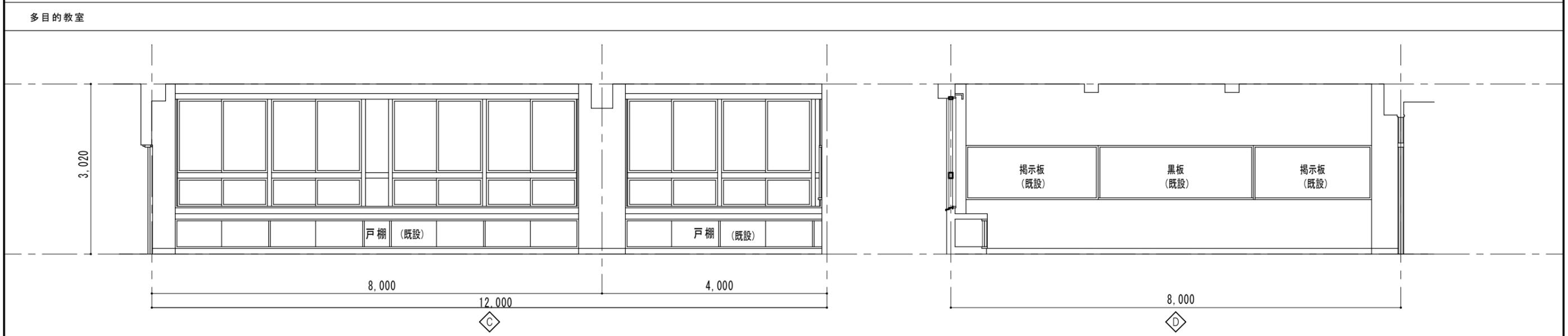
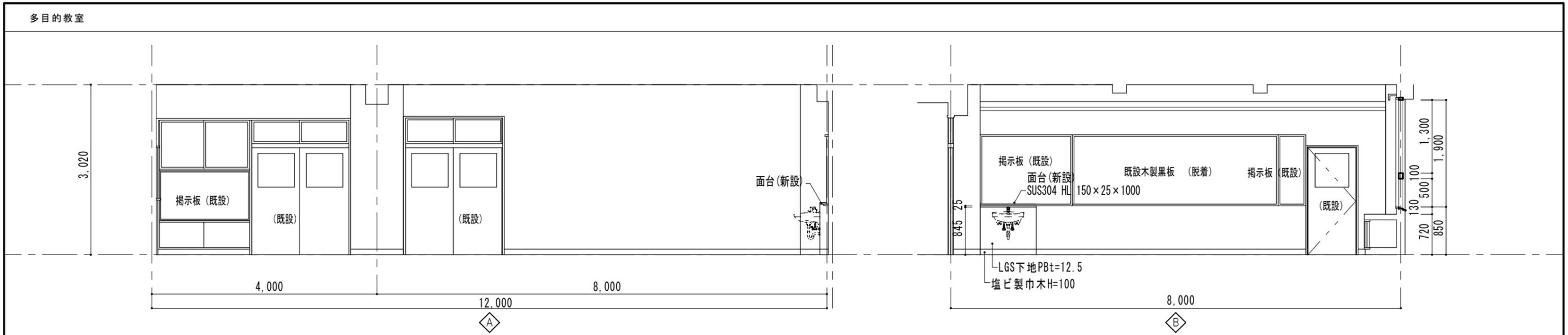
合資会社 重企建築事務所

Jyuki Architectural Design Office

一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治

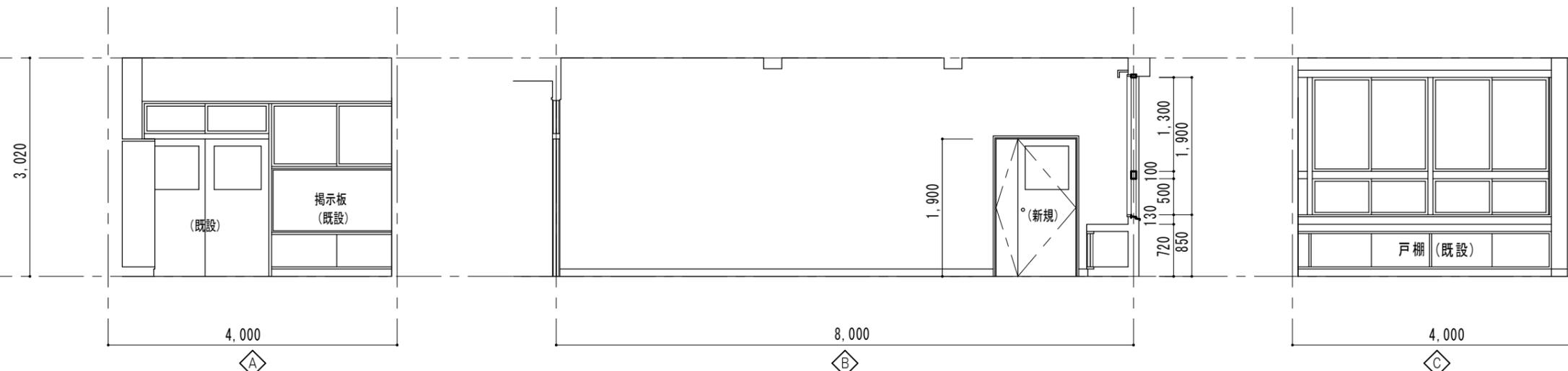


	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	<b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立西橋内中学校理科室床改修工事	第2理科室・準備室 改修後 展開図		A-22	
		縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date			

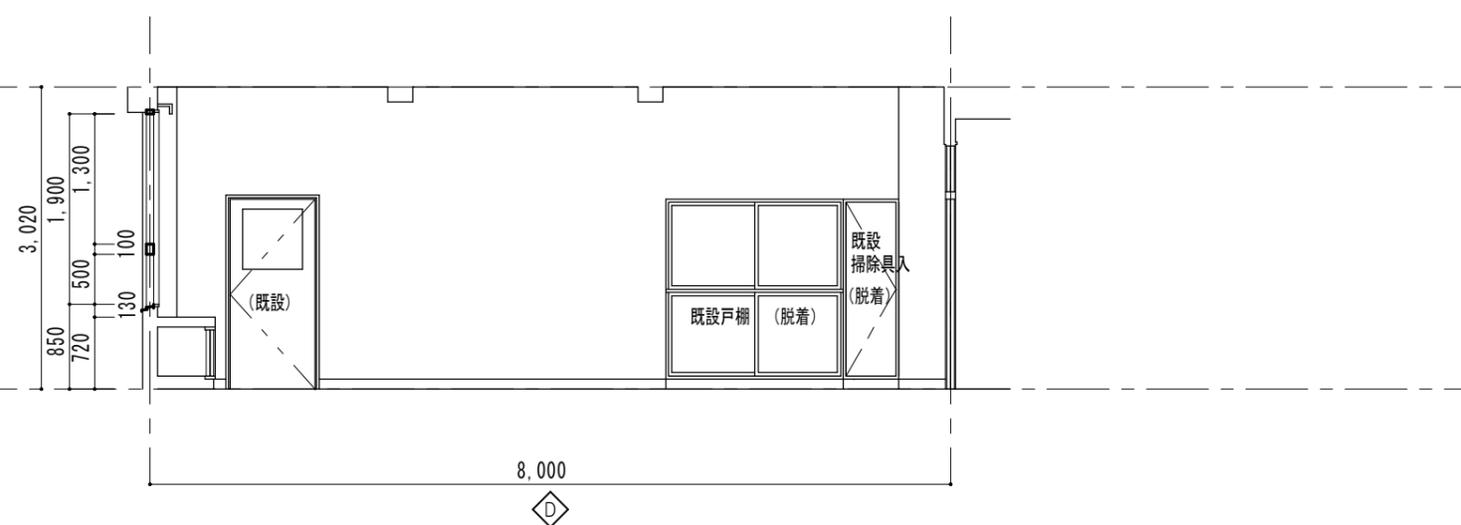


	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	<b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立西橋内中学校理科室床改修工事	多目的教室・準備室 改修後 展開図		A-23	
		縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date			
		S=1/50			

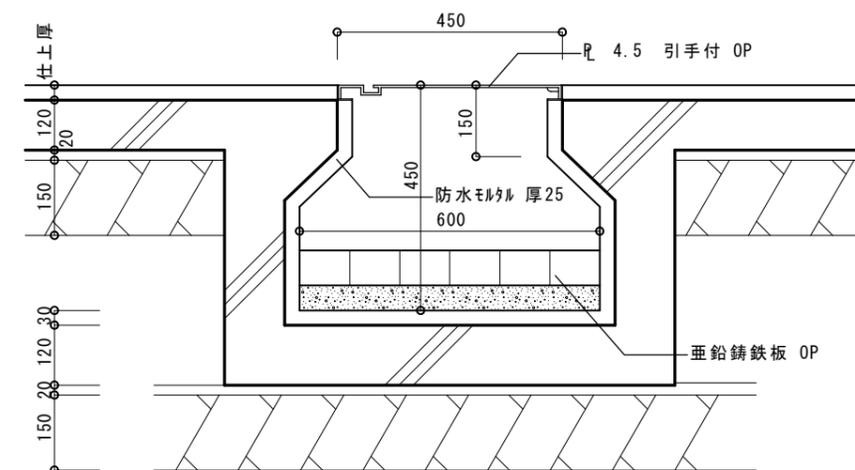
準備室（第1・第2理科室間）



準備室（第1・第2理科室間）



劇薬庫（撤去） 詳細図



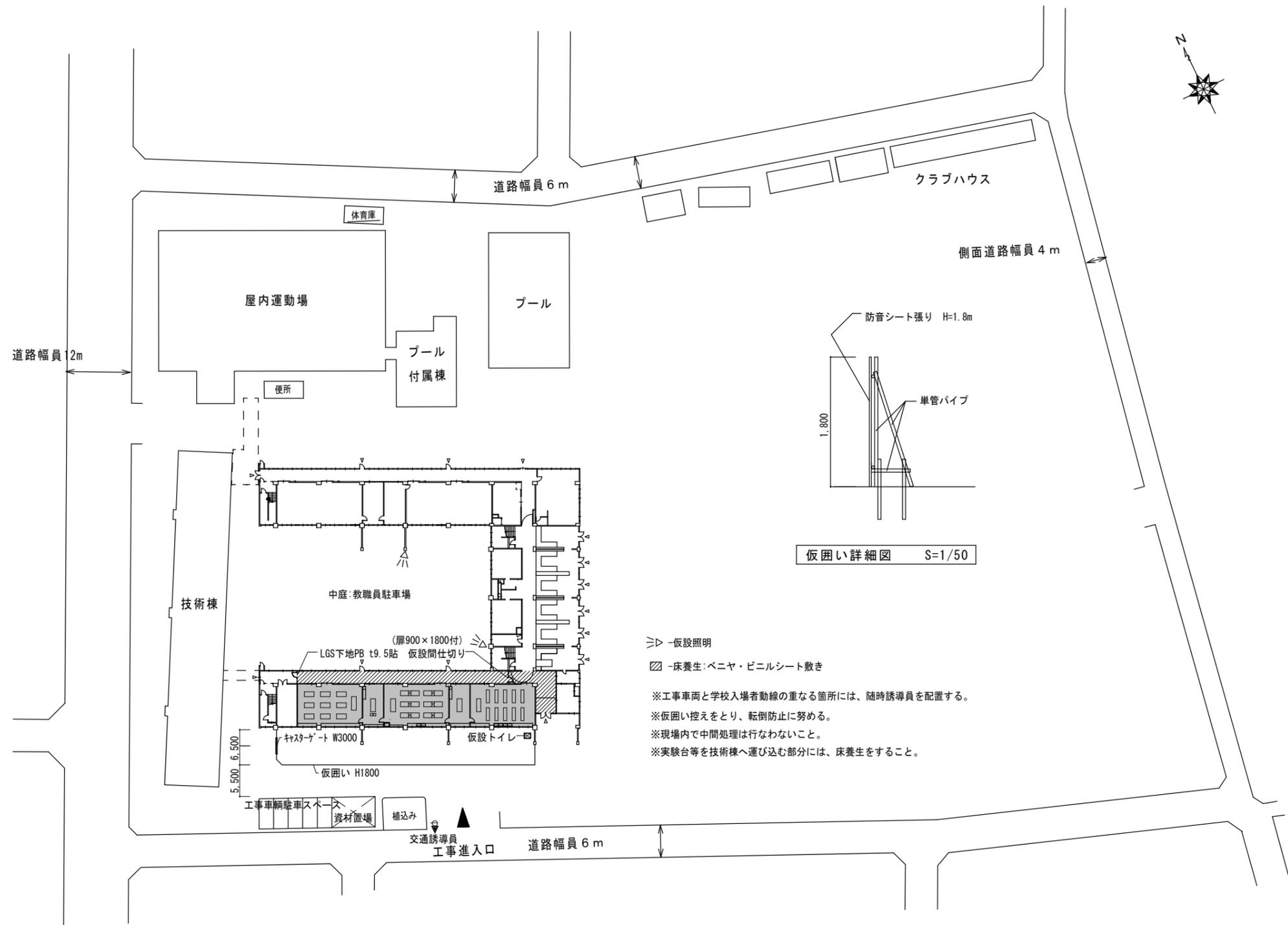
記号	数量	WD-1	2
形状			
使用場所	理科準備室①、②		
形式	木製親子扉	見込	36
仕上げ	ポリ合板フラッシュ	ガラス	型板強化ガラス t 4.0
金物	ドアチェック、フラス落し、レバーハンドル、シリンダー本締錠、ステンレス沓摺		
備考			

工事名 / Title  
津市立西橋内中学校理科室床改修工事

図面種別 / Drawing  
準備室 改修後 展開図  
縮尺 / Scale  
S=1/50

Check  
No.  
A-24

合資会社 重企建築事務所  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治



仮囲い詳細図 S=1/50

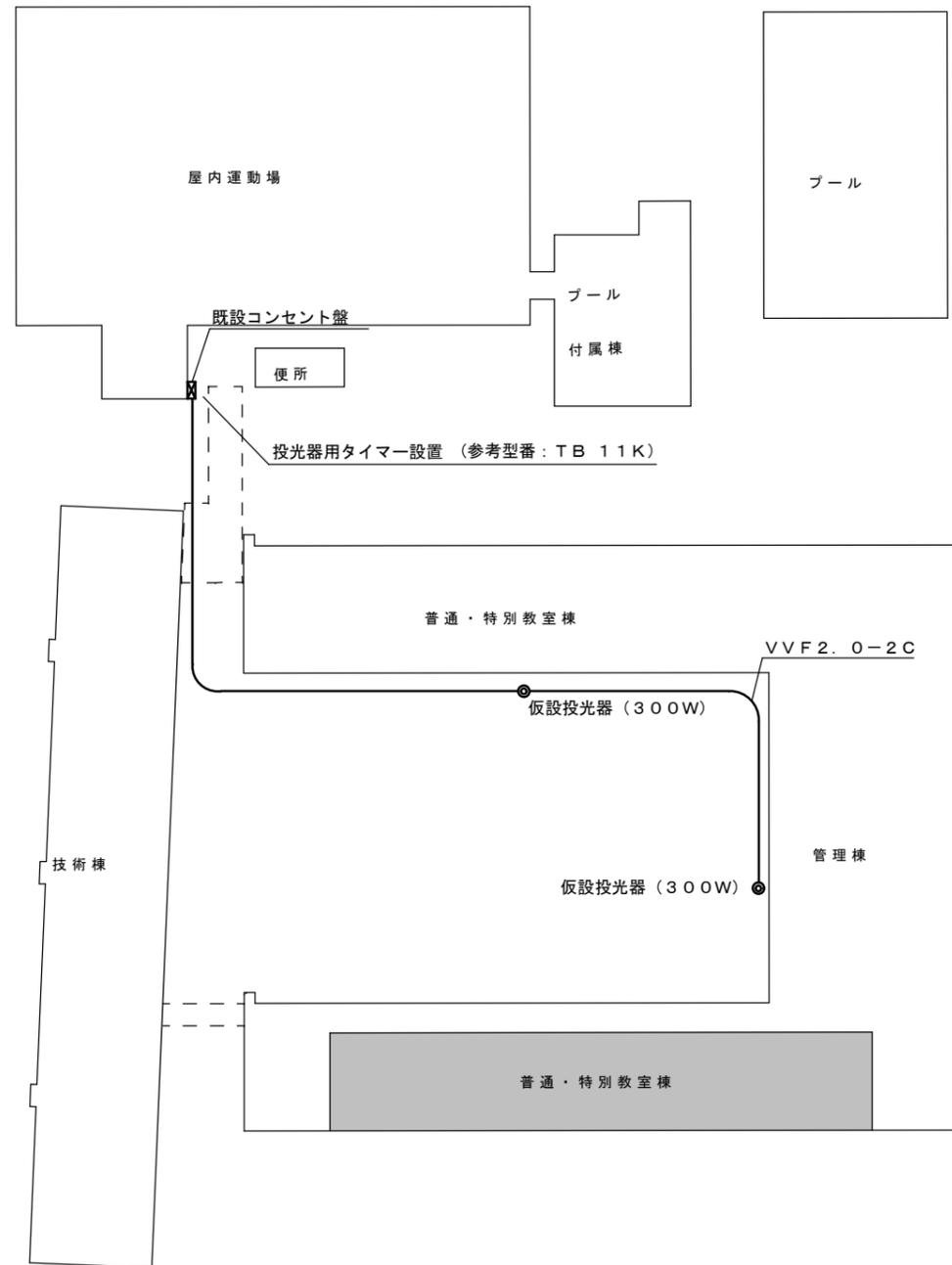
- ⇒ 仮設照明
- ▨ 床養生:ベニヤ・ビニルシート敷き
- ※工事車両と学校入場者動線の重なる箇所には、随時誘導員を配置する。
- ※仮囲い控えをとり、転倒防止に努める。
- ※現場内で中間処理は行わないこと。
- ※実験台等を技術棟へ運び込む部分には、床養生をすること。

仮設計画図 S=1/600

▨ : 改修箇所

	工事名 / Title <b>津市立西橋内中学校理科室床改修工事</b>	図面種別 / Drawing <b>仮設計画図</b>	Check	No.	<b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
		縮尺 / Scale 原図: A2 S=1/600		A-25	

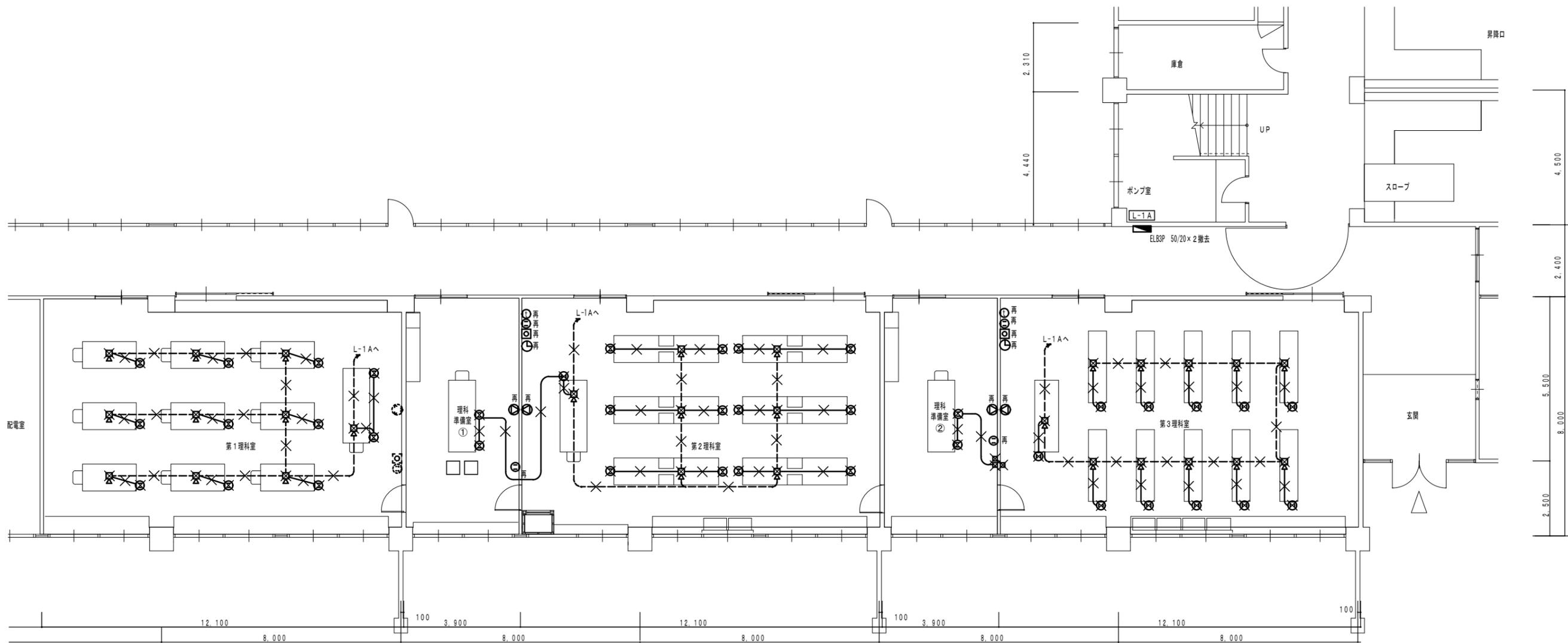




仮設電灯設備図 S=1/400

 : 改修箇所

. . . . . . . . . . . .	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	 <b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立西橋内中学校理科室床改修工事	仮設電灯設備図		E-02	
		縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date			
		S=1/400			



1階 平面図 S=1/100  
(改修前)

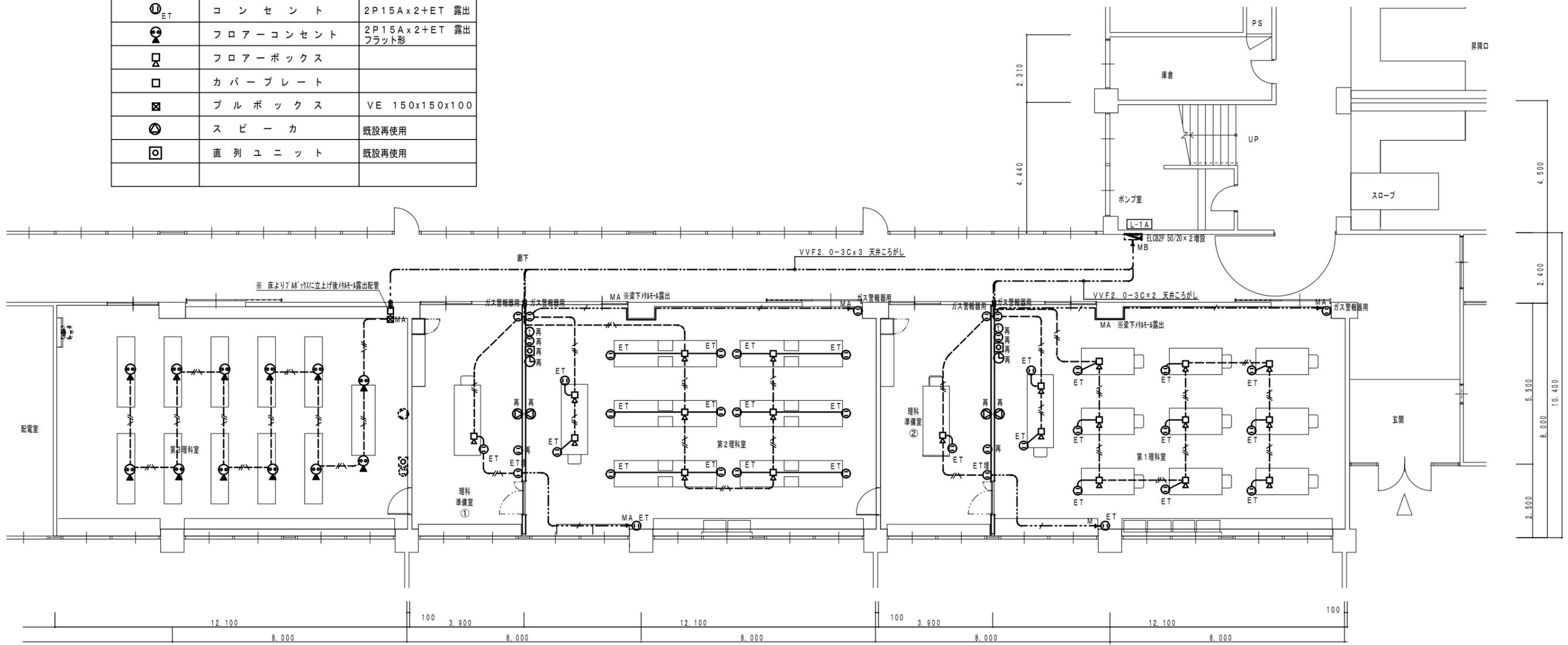
特記なき配線は下記による

---	VVF2.0-3C (天井隠ぺい)
---	VVF2.0-3C (E25)
---	VVF2.0-3C (PF16)

注記  
 ※ 不用配管配線は撤去とする。  
 × 撤去を示す。  
 再 取外し再取付を示す。

. . .	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	 合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立西橋内中学校理科室床改修工事	特別教室棟 改修前 電気設備図			
. . .				E-03	
. . .					

凡 例		
記 号	名 称	
⊙	コ ン セ ン ト	2P15A x 1
⊙ <sub>ET埋</sub>	コ ン セ ン ト	2P15A x 2 + ET 埋込
⊙ <sub>ET</sub>	コ ン セ ン ト	2P15A x 2 + ET 露出
⊙ <sub>ET</sub>	フ ロー ア - コ ン セ ン ト	2P15A x 2 + ET 露出 フラット形
□	フ ロー ア - ボ ッ ク ス	
□	カ バ ー プ レ ー ト	
⊠	プ ル ボ ッ ク ス	VE 150x150x100
⊙	ス ピ ー カ	既設再使用
⊠	直 列 ユ ニ ッ ト	既設再使用



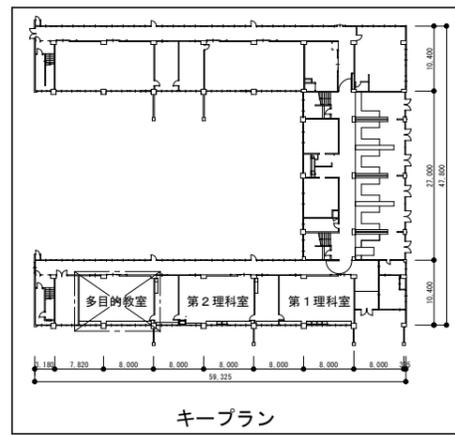
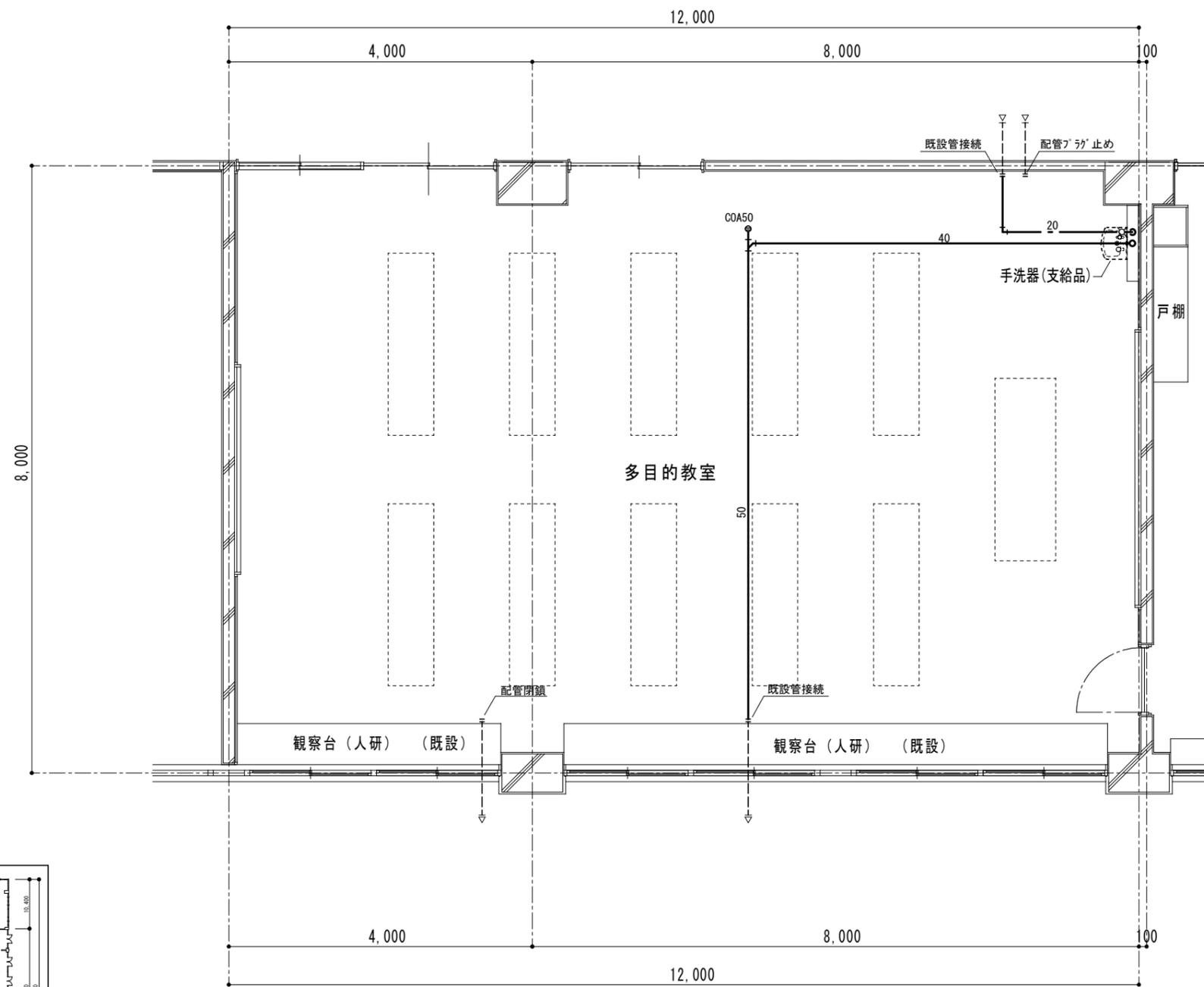
1階 平面図 S=1/100  
(改修後)

特記なき配線は下記による

—/—	VVF2. 0-3C (天井隠ぺい)
—/—	VVF2. 0-3C (HI16)
—/—	VVF2. 0-3C (PF16)
—/—	壁面露出配線メタルモールA
—/—	壁面露出配線メタルモールB

注記  
 ※ 壁面立上げ配管は、PF管保護とする。  
 ※ 点線は既設を示す。  
 ※ ガス警報器用コンセントはH=2700とする。  
 ※ 取外し再取付を示す。  
 ※ 壁貫通を示す。  
 ※ 建令114条の関仕切壁を貫通する部分は防火区画貫通処理とする。





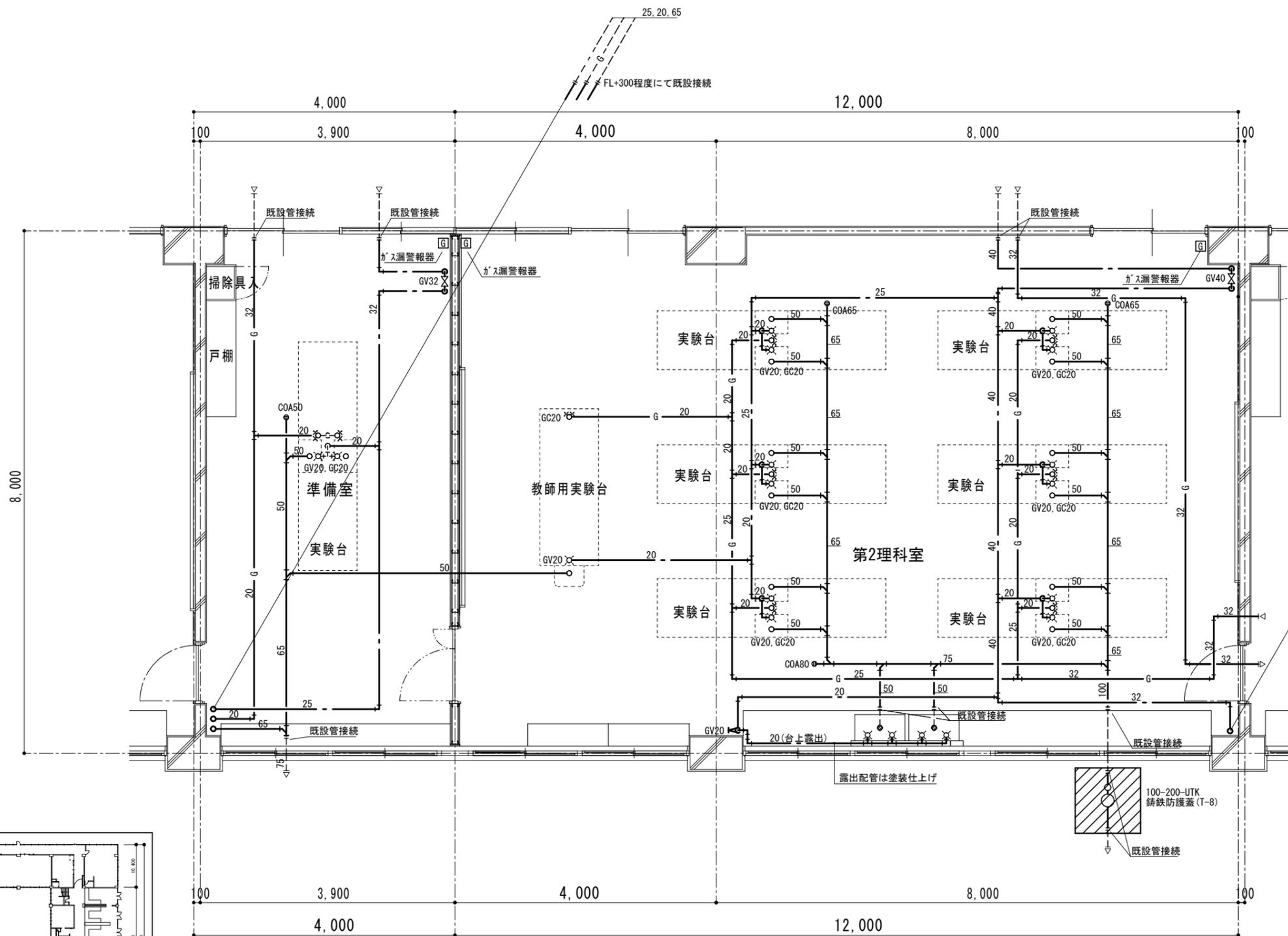
給排水衛生設備 新設工事要領

- ・衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- ・土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- ・既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設管接続部分  
既設配管部分 配管新設部分

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

. . .	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	給排水衛生設備 改修後 平面詳細図	Check	No.	M-2	<b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立西橋内中学校理科室床改修工事	縮尺 / Scale	原図 : A2 S=1/50	日付 / Date			



アスファルト撤去復旧範囲  
カッター入れ共

新設 衛生器具表 (第2理科室)		
名称	仕様	数量
自在水栓	T131BUN13	4
ガスコック	2口ヒューズコック 台付	7

再取付 衛生器具表 (第2理科室)		
名称	仕様	数量
化学水栓	T42B(2口) 台付	13

新設 衛生器具表 (準備室)		
名称	仕様	数量
ガスコック	2口ヒューズコック 台付	1

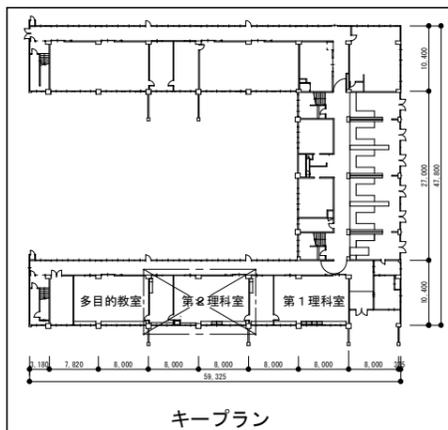
再取付 衛生器具表 (準備室①)		
名称	仕様	数量
化学水栓	T42B(2口) 台付	2

給排水衛生設備 新設工事要領

- ・衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- ・土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- ・既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設管接続部分  
 配管新設部分  
 ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

※特記なき場合は全て土間埋設管とする。  
 ※実験台に接続する給水、ガス配管には全てサビハルを設置すること。



工事名 / Title

津市立西橋内中学校理科室床改修工事

図面種別 / Drawing 給排水衛生設備  
 第2理科室・準備室 改修後 平面詳細図

Check

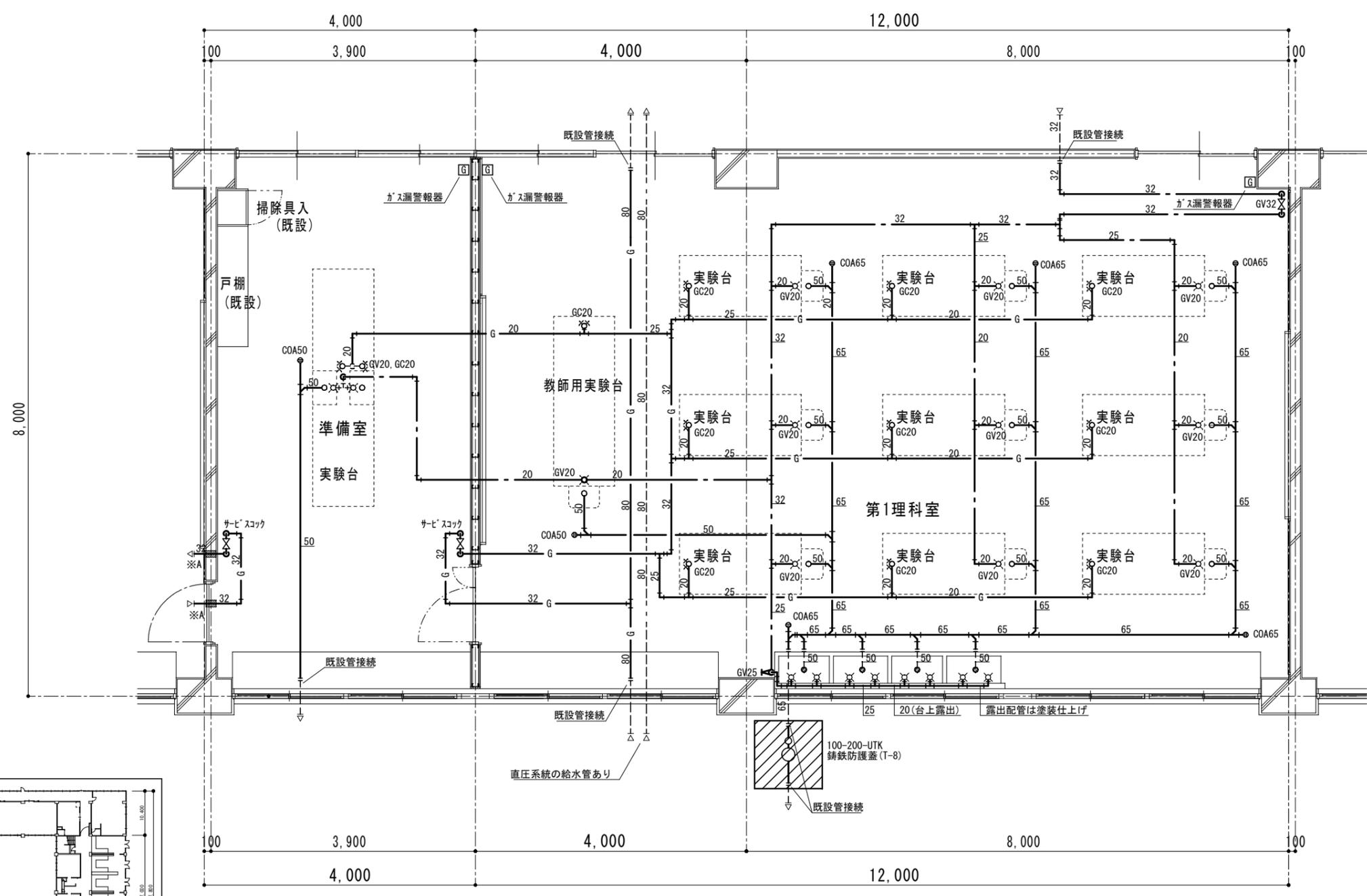
No.

M-3

縮尺 / Scale 原因: A2 日付 / Date  
 S=1/50

合資会社 重企建築事務所

Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治



**新設 衛生器具表 (第1理科室)**

名称	仕様	数量
自在水栓	T131BUN13	8
ガスコック	2口ヒューズコック 台付	10

**再取付 衛生器具表 (第1理科室)**

名称	仕様	数量
化学水栓	T42B(2口) 台付	10

**再取付 衛生器具表 (準備室)**

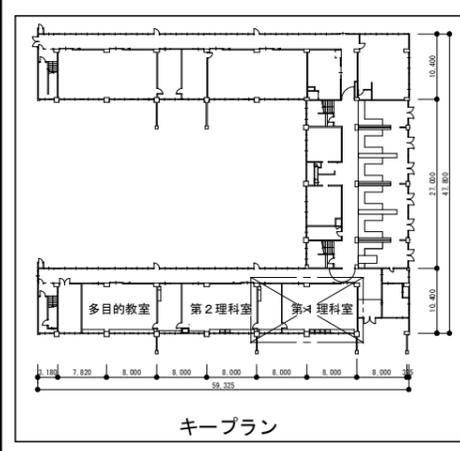
名称	仕様	数量
化学水栓	T42B(2口) 台付	2

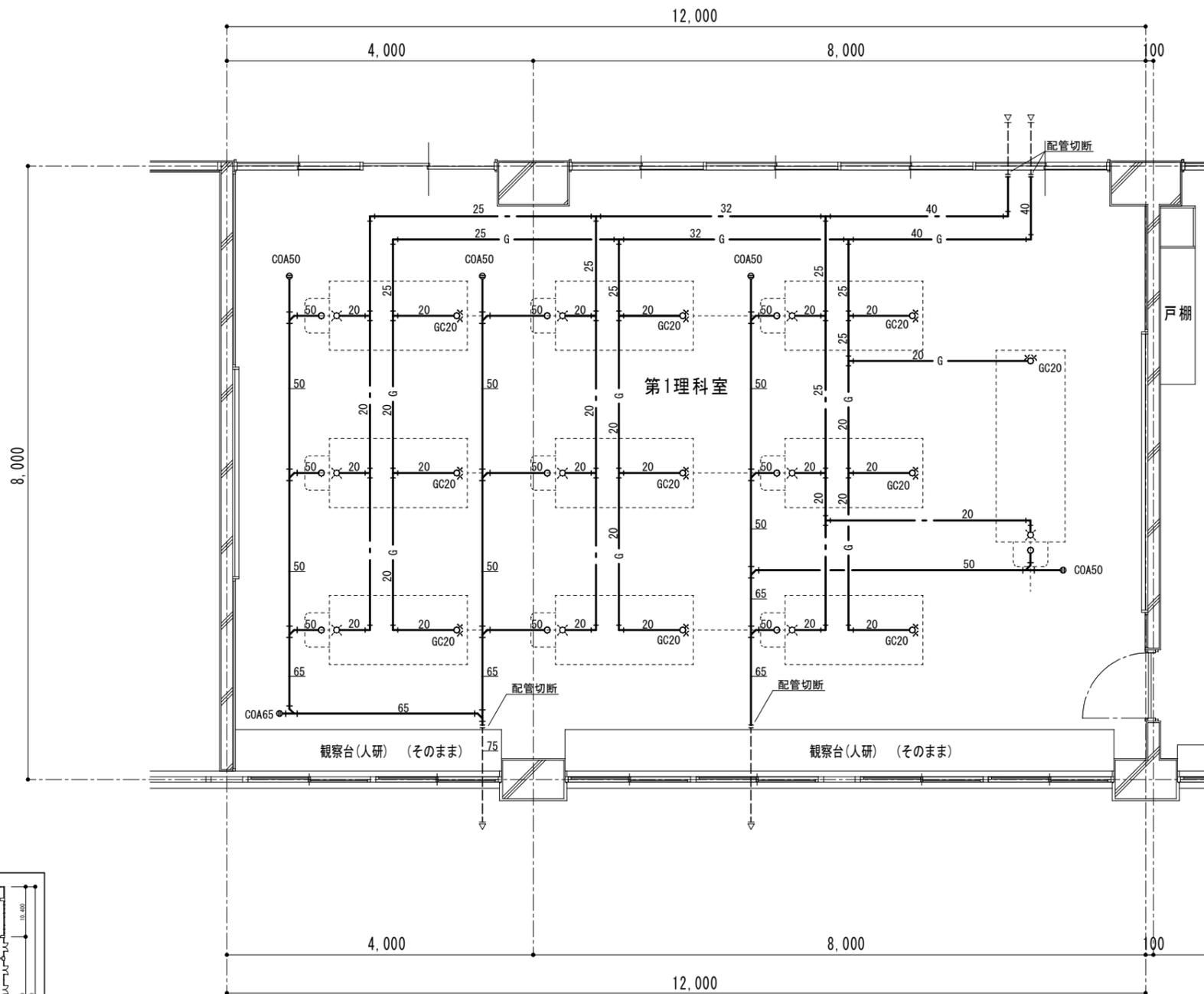
**新設 衛生器具表 (準備室)**

名称	仕様	数量
サビコック	各教室用	2
ガスコック	2口ヒューズコック 台付	1

- 給排水衛生設備 新設工事要領**
- ・衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
  - ・土間コンクリート復旧工事は建築工事。
  - ・既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。
- 既設管接続部分  
 既設配管部分  
 配管新設部分
- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

※特記なき場合は全て土間埋設管とする。  
 ※既設実験台再取付(建築工事)時に既設器具に接続する。  
 ※実験台に接続する給水、ガス配管には全てサビバルブを設置すること。  
 ※A部は既設立上壁(埋設部)コ抜きを示す。





撤去 衛生器具表 (第1理科室)		
名称	仕様	数量
ガスコック	2口タイプコック 台付	10

一時取外し 衛生器具表 (第1理科室)		
名称	仕様	数量
化学水栓	T42B(2口) 台付	10

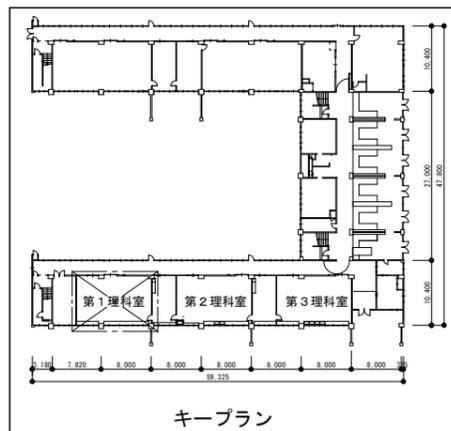
給排水衛生設備 撤去工事要領

- ・ 図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- ・ 土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- ・ 壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

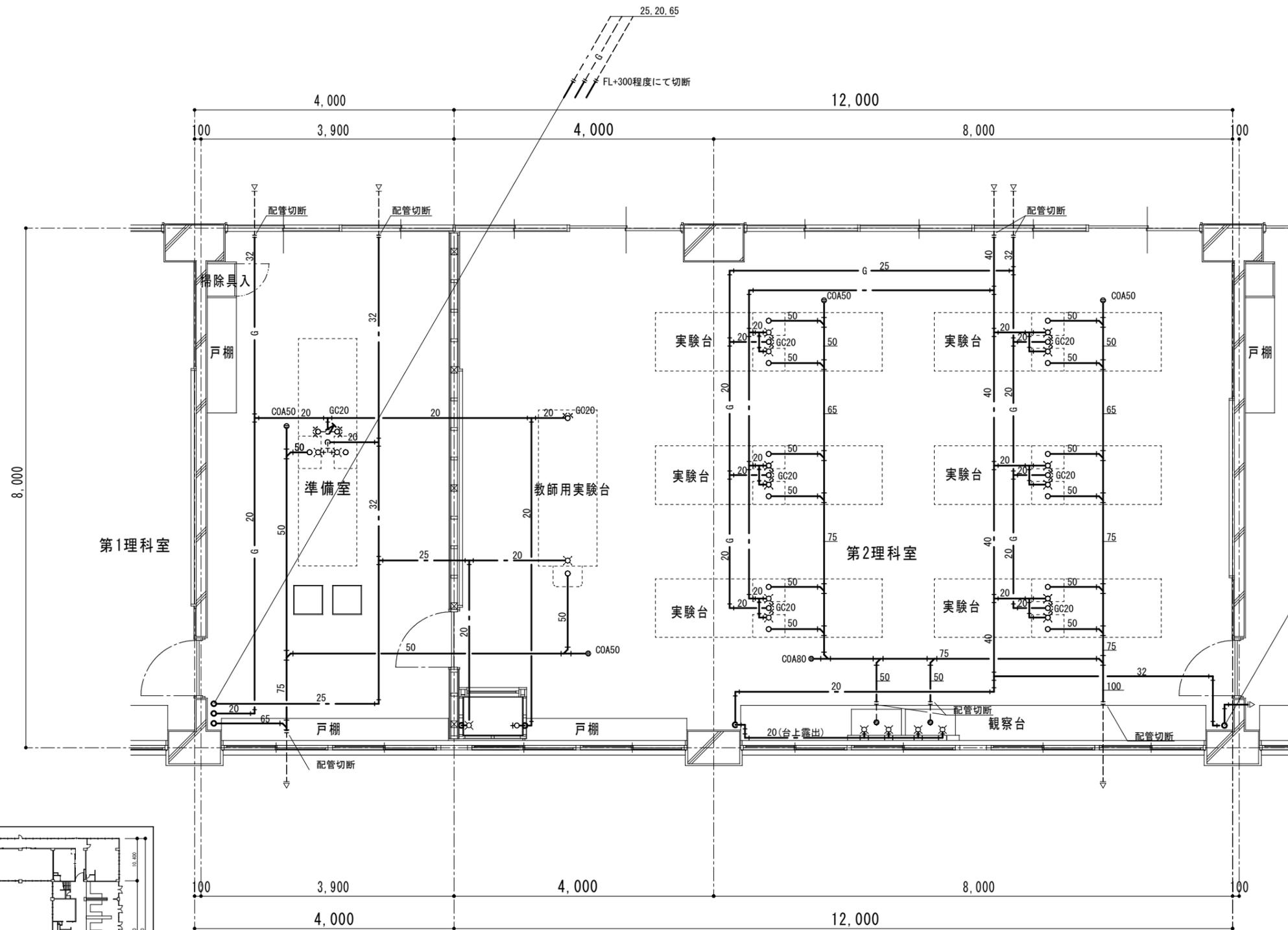
配管切り離し部分  
 現状維持部分 ← 配管撤去部分

- ・ 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

※特記なき場合は全て土間埋設管とする。



. . . . . . . . .	工事名 / Title <b>津市立西橋内中学校理科室床改修工事</b>	図面種別 / Drawing 第1理科室 給排水衛生設備 改修前 平面詳細図	Check	No. M-5	 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
	縮尺 / Scale S=1/50	原図 : A2 日付 / Date			



※特記なき場合は全て土間埋設管とする。

名称	仕様	数量
自在水栓	13A	4
ガスコック	2口ヒューズコック 台付	7

名称	仕様	数量
化学水栓	T42B(2口) 台付	13

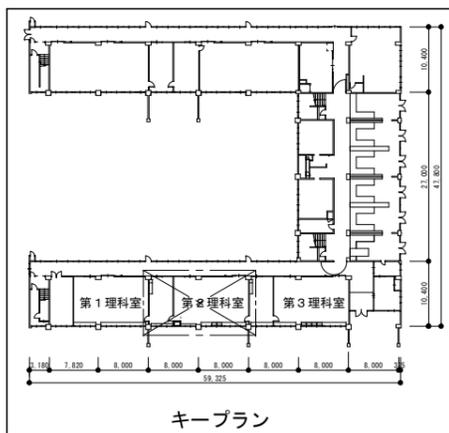
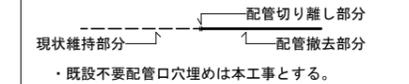
名称	仕様	数量
単水栓	13A	1
ガスコック	1口ヒューズコック 壁付	1

名称	仕様	数量
ガスコック	2口ヒューズコック 壁付	2

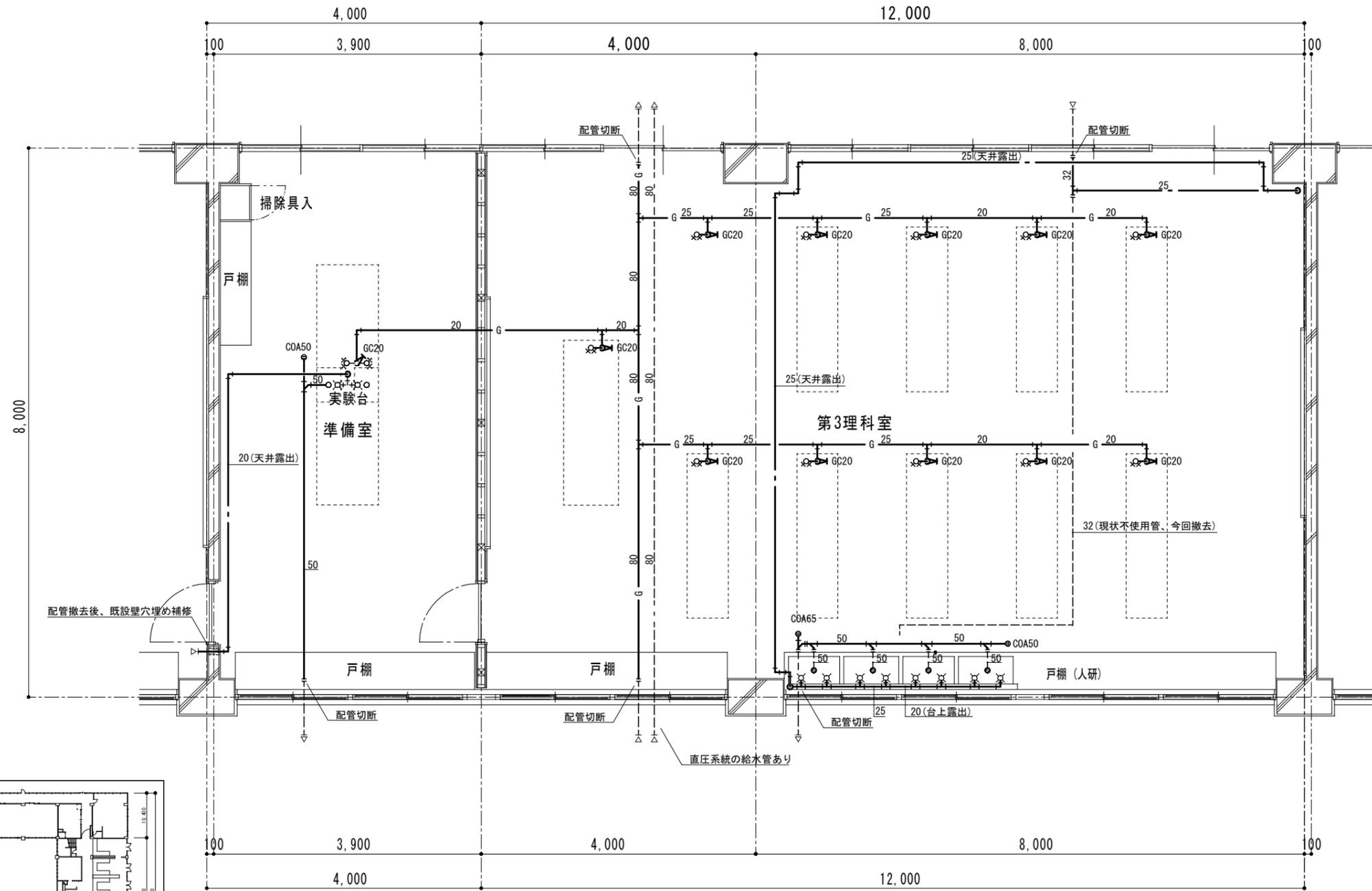
名称	仕様	数量
化学水栓	T42B(2口) 台付	2

給排水衛生設備 撤去工事要領

- ・図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- ・土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- ・壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。



工事名 / Title <b>津市立西橋内中学校理科室床改修工事</b>	図面種別 / Drawing 第2理科室・準備室 <b>給排水衛生設備 改修前 平面詳細図</b>	Check No. <b>M-6</b>	<b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治	
	縮尺 / Scale 原図: A2 <b>S=1/50</b>			日付 / Date
	図面内容 / Drawing Content			



配管撤去後、既設壁穴埋め補修

※特記なき場合は全て土間埋設管とする。

撤去 衛生器具表 (第3理科室)		
名称	仕様	数量
自在水栓	T3A 壁付	8
ガスコック	2口ヒューズコック 台付	13

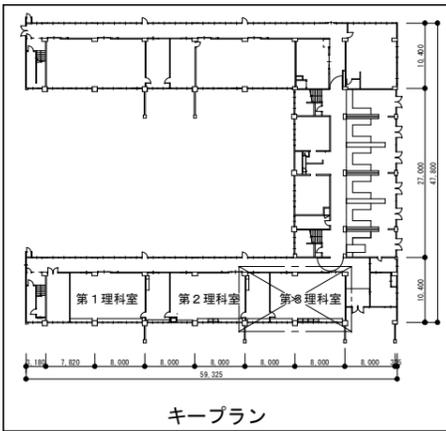
一時取外し 衛生器具表 (準備室)		
名称	仕様	数量
化学水栓	T42B(2口) 台付	2

給排水衛生設備 撤去工事要領

- 図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- 土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- 壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

配管切り離し部分  
 配管撤去部分  
 現状維持部分

・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



	工事名 / Title 津市立西橋内中学校理科室床改修工事	図面種別 / Drawing 第3理科室・準備室 給排水衛生設備 改修前 平面詳細図	Check	No. M-7	<b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
		縮尺 / Scale S=1/50	原図: A2	日付 / Date	